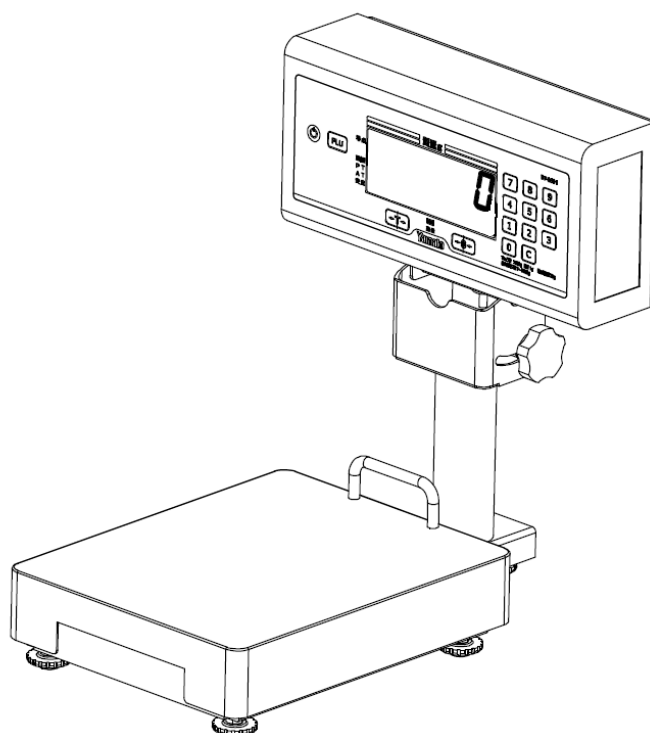


防水型卓上デジタル台はかり

DP-6601

取扱説明書



信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保存し、必要などきにお読みください。

はじめに

この度は、防水型卓上デジタル台はかり DP-6601 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

このはかりは、IP65 準拠[※]の防水・防塵設計を採用したデジタル台はかりですので、工場・一般店頭でのご使用はもちろんのこと、鮮魚・青果関係・農家等の幅広い分野でお使いいただけます。また、誰でも簡単に定量詰め目標質量が入力できる「テンキーによる簡単設定機能」や、お客さまの用途に合わせた設定ができる「マルチファンクション機能」など画期的な機能を搭載しております。

この DP-6601 をいつまでも最適な状態でお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みいただき、十分にご活用くださいますよう、お願い申し上げます。

[※]IP とは、固形異物、水に対する保護等級表示です。IP65 は通常の使用状態において、粉塵が内部に侵入せず、いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響をうけない防水性能を示しています。

目 次






1 章	ご使用前にお読みください.....	3
1-1.	安全に正しくお使いいただくために	3
1-2.	使用上の注意とお願い	5
1-3.	このような機能があります	7
1-4.	製品の構成.....	8
1-5.	各部の名称.....	8
1-6.	はかりの性能を維持させるために.....	8
2 章	ご使用前の準備について.....	9
2-1.	乾電池のセット及び交換方法	9
2-2.	設置場所について	9
2-3.	表示部及びキー操作部について	10
3 章	基本操作について	11
3-1.	計量のしかた.....	11
3-2.	電源オフのしかた.....	11
3-3.	零点リセットのしかた	11
3-4.	ワンタッチ風袋引きのしかた.....	12
4 章	ユーザパラメータについて.....	13
4-1.	ユーザパラメータについて.....	13
4-2.	ユーザパラメータ表	13
4-3.	ユーザパラメータの変更方法	16
5 章	各種機能についての説明	17
5-1.	プリセット風袋引き機能	17
5-2.	自動風袋引き機能	18
5-3.	オートオフ機能	19
5-4.	マルチファンクション機能	19
5-5.	減算式計量機能	20
6 章	マルチファンクション機能の使いかた	21
6-1.	チェック機能(上下限判別機能).....	21
6-1.1)	ジャスト計量機能.....	24
6-1.2)	不足数量機能.....	24
6-2.	定量計量機能	26
6-2.1)	表示方式の変更方法.....	29
6-3.	ランク選別機能	30
6-4.	ランク選別組合せ機能.....	33
6-5.	計数機能	37
7 章	検定外品（取引証明以外用）について	41
7-1.	使用地域別の重力加速度について	41
7-2.	校正（スパン調整）	42
8 章	オプション	43
9 章	エラー表示	44
10 章	仕様.....	45

1章 ご使用前にお読みください

1-1. 安全に正しくお使いいただくために


ご使用前にこの「安全に正しくお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全に正しくお使いいただくために」は、安全にお使いいただき、ご使用される方や他の方々への危害や財産の損害を防止するためのものです。また、お読みになった後は、必要な時にすぐ取り出せるように大切に保管してください。

●表示と意味については次のように定義しています。


	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受けたりする可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	禁止	してはいけないことを表しています。
	強制	しなければならないことを表しています。

●この製品のご使用前に、以下の“危険”、“警告”、“注意”事項をよくお読みいただき、理解し遵守してください。


危険

 : 感電事故を避けるために

- (1) AC アダプタのコードは、足、運搬車などの車輪で踏まないようにしてください。
(オプション AC アダプタ使用時)
- (2) 本体ネジ止め部は、絶対に外さないでください。
- (3) AC アダプタの抜き差しは、AC アダプタ本体の樹脂部を持って確実に行ってください。
(オプション AC アダプタ使用時)

 : 爆発、引火事故を避けるために

防爆機能を備えておりません。
可燃性ガス、危険物等の存在する場所では使用しないでください。

 : 火災、感電事故を避けるために

万一煙が出ている、異臭がする等の異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐに乾電池を抜く、又は AC アダプタをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して購入先に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから、絶対にしないでください。

警告

⊘ : 傷害、損害事故を避けるために

- (1) 載台に品物を載せる場合には不安定な場所では使用せず、荷崩れ、落下がないように載せてください。
- (2) 使用後は AC アダプタをコンセントから抜いてください。(AC アダプタ使用時)
- (3) はかりの持ち運びや移動の際は、必ず載台の底を両手で持って持ち上げてください。
(無理な姿勢での持ち運びは絶対にしないでください)
- (4) はかりの隙間、穴等に指を入れないでください。
- (5) 一切の分解、改造はしないでください。
- (6) 破損した液晶から出た液体を口に入れないでください。

⊘ : 外装部品の保護フィルムを貼ったまま使用しない。

輸送中のキズや汚れを防ぐため、外装部品には出荷時に保護フィルムが貼られています。ご使用になる際は、保護フィルムを必ず剥がしてご使用ください。

保護フィルムを貼ったまま使用されますと、保護フィルムが被計量物に混入するおそれがあります。

また製品出荷時の状態で既に保護フィルムを剥がしている製品についても、保護フィルムが貼られていない事をご確認の上、ご使用ください。

注意

⊘ : はかりを損傷させないために

- (1) 表示部、キー部を爪や先の尖った物で押さないでください。
- (2) 電源電圧、使用環境を遵守してください。
- (3) 一切の分解、改造はしないでください。
- (4) ひょう量以上の物を載せないでください。
- (5) 載台に品物の落下等による過度の衝撃や振動を与えないでください。

⊘ : はかりの性能を維持させるために

- (1) 振動を発生する器具類の近くに設置しないでください。
- (2) 直射日光の当たる場所や冷暖房機の風が当たる場所には設置しないでください。
- (3) 丈夫な床、台上に設置してください。
- (4) 使用温度範囲 (0~40℃) 以外では使用しないでください。
- (5) はかりは水平な状態で使用してください。
(はかりが水平でない時は水平調節脚で水平を確実に合わせてください)
- (6) はかりを落としたり、寝かせて保管しないでください。
- (7) 載台の取り付け状態の確認は、載台を左右に回転させる等過度な負荷をかけないように必ず目視で確認してください。
- (8) はかりを水につけたり、本体を裏返した状態で底面に水をかけたりしないでください。

1-2. 使用上の注意とお願い

故障の原因となります

- (1) はかりの上に物を落としたり、飛び乗ったり、はかりを落下させたりしないでください。
- (2) シンナー・ベンジン等では拭かないでください。

計量不良の原因となります

- (1) 火気・蒸気の近く、直射日光や冷暖房機の風が当たる場所で使用しないでください。
- (2) 過度の衝撃や振動及び強い電磁波が発生する機器類（電子レンジ等）の近くでは使用しないでください。
- (3) 荷重に充分耐えられる水平で安定した場所で使用してください。
- (4) 指定の使用環境にて使用してください。（使用環境 0℃～+40℃, 30%RH～85%RH）
尚、指定の環境範囲内であっても、下記のように結露が発生する状況下では計量不良が起こる場合があります。
 - 1) 高湿度の環境下で長時間使用又は保存されたとき。
 - 2) 湿度が低くても急激な温度変化を与えたとき。（冷水などをはかりにかける。）
 - 3) はかりに冷蔵庫等の冷氣、又は湯気、水蒸気などがかかる雰囲気で使用したとき。
- (5) 測定後に品物を取り除いた後、次の品物を載せる前に表示がゼロ状態に戻っていることを確認してください。

乾電池について

- (1) アルカリ乾電池、マンガン乾電池以外の電池は使用しないでください。
- (2) 乾電池の交換の際は、極性（+、-）を表示の通りに装着してください。間違った場合は故障の原因になります。
- (3) アルカリ乾電池、マンガン乾電池を一緒に使用しないでください。一緒に使うと、液もれや破裂の原因になります。
- (4) 電池切れを示すサイン[bAt]を表示したら速やかに乾電池を取り替えてください。
乾電池交換は、全て新しい乾電池に交換してください。古い乾電池が混じると液もれしたり、極端に電池の寿命が短くなったりします。
- (5) 長期間（約1ヶ月以上）使用しない場合は、乾電池をはかりから取り外してください。乾電池が液もれし、はかり内部が腐食する場合があります。
- (6) ACアダプタ(オプション)使用時は、必ず乾電池をはかりから取り外してください。乾電池との併用は絶対しないでください。

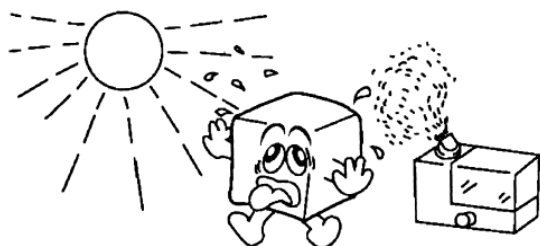
始業時点検のお願い

計量法では、適正な計量の実施を求められており、始業時の点検、質量チェックを実施してください。

保管・廃棄について

●保管場所について

(1) 高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります。



(2) はかりは精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所・加わりやすい場所での保管は避けてください。



●廃棄について

はかりを廃棄する場合、はかりは産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。

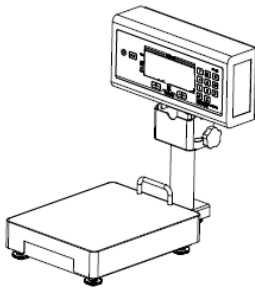



廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。

1-3. このような機能があります

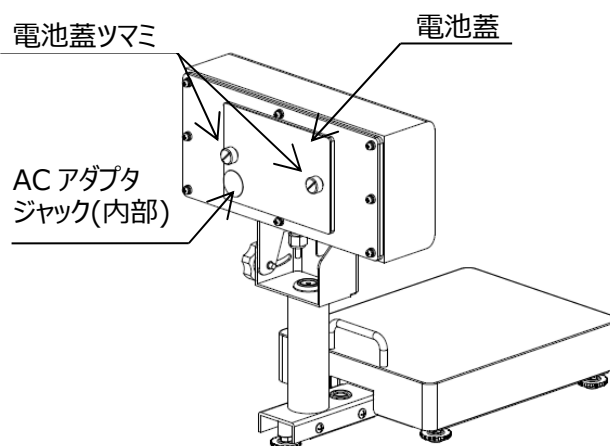
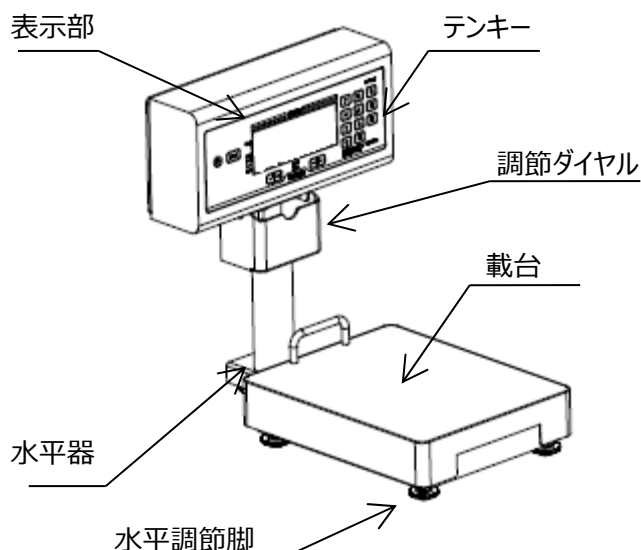
防水型卓上デジタル台はかり DP-6601 には、下記のような機能があります。作業の目的に応じてお役立てください。

目的	機能詳細
Q1.品物または容器の質量を 0 表示させたい。 Ans.ワンタッチ風袋引き機能 → [3-4 項]	風袋引きキー を使ってワンタッチで風袋引きできます。
Q2.風袋引き質量を数値で入力したい。 Ans.プリセット風袋引き機能 → [5-1 項]	プリセット風袋量(置数風袋量)をテンキーで入力し、設定できます。
Q3.容器を載せた時点で、自動的に風袋引きを行いたい。 Ans.自動風袋引き機能 → [5-2 項]	零点確認後に最初に載せた品物（容器）を自動で風袋引きできます。
Q4.はかりの電源を自動的にオフしたい。(乾電池使用時) Ans.オートオフ機能 → [5-3 項]	一定時間はかりを使用しない時間が続くと、自動的にはかりの電源をオフすることができます。
Q5.計量作業の歩留まり・効率を改善したい。 Ans.マルチファンクション機能 → [5-4 項]	品物の種類やパック詰め作業形態によって、便利な機能を選択できます。
Q6.目標質量に対して適量であるか確認したい。 Ans.チエッカ機能 → [6-1 項]	上下限判別計量ができます。現在の入れ目が目標質量に対して軽量・適量・過量であるか、瞬時に把握できます。 サポート機能 1) ジャスト計量機能…「あと何 g」を表示します。 サポート機能 2) 不足数量表示機能…「あと何個」を表示します。
Q7.パック詰め作業の歩留まりを向上させたい。 Ans.定量計量機能 → [6-2 項]	過不足量を表示しますので、歩留まりの向上に役立ちます。 ※取引証明にはお使いいただけません。
Q8.品物を重さで選別したい。 Ans.ランク選別機能 → [6-3 項]	重量によるランク選別を行います ※取引証明にはお使いいただけません。
Q9.パック詰め作業を簡単に行い、歩留まりを向上させたい。 Ans.ランク選別組合せ機能 → [6-4 項]	ランク選別結果を用いて組合せ計量を行うことで、入れ替え作業を行うことなく簡単に定量詰めが完成します。
Q10.品物の個数を瞬時に把握したい。 Ans.計数機能 → [6-5 項]	質量から品物の個数を計算します。個数の上下限登録も可能です。※取引証明にはお使いいただけません。
Q11.取り除き計量でチエッカ機能・ランク選別機能を使用したい。 Ans.減算式計量機能 → [5-5 項]	チエッカ機能、ランク選別機能、ランク選別組合せ機能のランク選別モードについて、取り除き計量による判別を行うことができます。 ※取引証明にはお使いいただけません。

1-4. 製品の構成

はかり本体	付属品	オプション
	●取扱説明書(本書)、保証書 	●ACアダプタ 
	●単1形乾電池2本 (モータ用) 	

1-5. 各部の名称



※AC アダプタ用ジャックは、防水ステッカーをはがしてご使用ください。ただし、防水ステッカーをはがしたあとは防水性が保たれません。

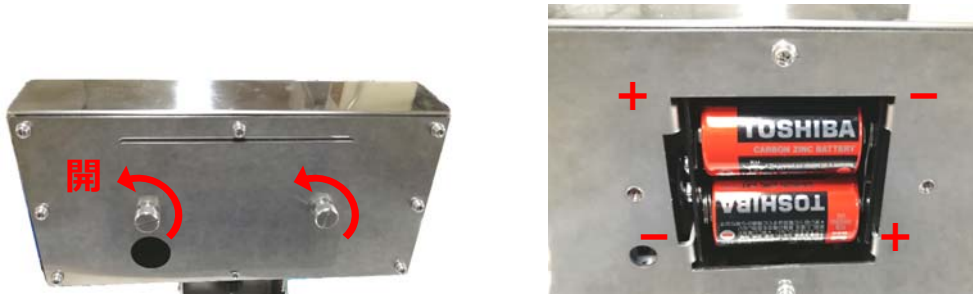
1-6. はかりの性能を維持させるために

- 載台を洗浄する場合は、きれいな水で洗浄し、その後に乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。海水、汚れた水、不純物の入った水を使用すると故障の原因になります。
- はかり全体の汚れを落とす場合は、柔らかい布を使用してください。たわしやブラシなどは使用しないでください。
- 中性洗剤で洗浄される場合は、中性洗剤をスポンジに含ませ拭き取った後、必ずきれいな水で洗浄し、その後に乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。
- はかり全体をアルコール消毒する場合は、アルコール濃度 80%以下の溶液を布に含ませ拭き取った後、必ずきれいな水で洗浄し、その後に乾いた清潔な布で確実に水分を拭き取ってください。表示部はきれいな水で洗ってください。
- 分解や改造は絶対にしないでください。防水性を損なう原因になります。万一、誤って分解したときは、必ずご購入された販売店まで連絡願います。
- はかりを落としたり、テーブルなどの固いものに当てたりしないでください。
- 表示部、キー部、ゴム部を爪や尖った物で押さないでください。
- ご使用後は、はかりを乾燥した温度変化の少ない場所に保管してください。

2章 ご使用前の準備について

2-1. 乾電池のセット及び交換方法

- ① 表示部裏側の電池蓋ツマミ(2ヶ所)を回し、電池蓋を外します。
- ② 電池の極性(+、-)は電池ボックス内に刻んである通りの向きに正しく装着してください。向きを間違えると、故障の原因になります。
- ③ 電池蓋を閉じ、電池蓋ツマミ(2ヶ所)をしっかりと閉じます。



電池交換を行う際は、2本とも新しいものと交換してください。

また、性能の異なる乾電池(マンガン乾電池とアルカリ乾電池など)を一緒に使用しないでください。

2-2. 設置場所について

はかりを使用するときは、必ず水平に設置してください。

水平でないと、正しい計量できません。

また、がたつきがあっても正しい計量できません。

注意) はかりは傾いた床に置かないでください。

(水平調節できる範囲を超える場合)

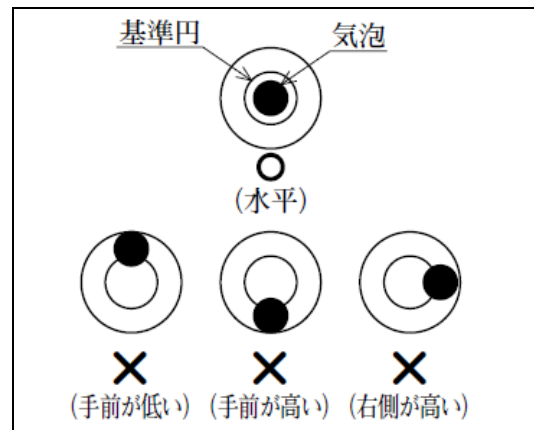
はかりには、水平を調節するための水平調節脚があります。

なるべく平らな場所で水平器の気泡が基準円の中心に来るよう

水平調節脚を回して調節してください。

また、水平調節脚が浮かないように調整してください。

(水平調節脚を右に回すとはかりは下がり、左に回すとはかりは上がります)



2-3. 表示部及びキー操作部について

表示部

零点サイン
零点で点灯

正味量サイン
風袋引き時に点灯

プリセット風袋引き中サイン
プリセット風袋引き中に点灯

自動風袋モードサイン
自動風袋引き中に点灯
自動風袋待ち時は点滅

安定サイン
表示安定時に点灯

乾電池残量サイン

主表示
主に質量値を表示します。



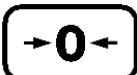

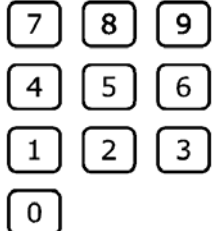

副表示(枠内)
下限設定値など、補助的な情報を表示します。

取引証明以外用サイン
取引証明用でない
計量モードのときに
「NOT LEGAL」の文字が点灯

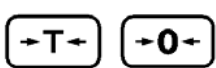
LED(判定用ランプ)
液晶の一部が青色に点灯

マルチファンクション機能サイン
マルチファンクション機能使用時に、
使用している機能のサインが点灯

キー操作部

	<p>電源 ON/OFF キー 電源が入っていないとき、押すと電源がオンします。 電源をオフするときは、表示が消えるまで押し続けます。 設定中に押すと計量モードに戻ります。 品種呼出後の計量モードで押すと、品種呼出前の計量モードに戻ります。 ユーザパラメータ設定中に押すと、はかりが再起動します。</p>
	<p>風袋引きキー 品物を入れる容器の質量を 0 にしたいとき、押すと風袋引きします。</p>
	<p>零点リセットキー 計量前、零点がずれているとき、押すと零点をリセットします。 設定中に押すと前画面に戻ります。</p>
	<p>PLU キー 品種選択画面に移行します。この画面より品種の呼出・登録が行えます。</p>
	<p>テンキー(0~9) 設定値の入力に使用します。</p>
	<p>クリアキー テンキーで入力した内容をクリアします。</p>

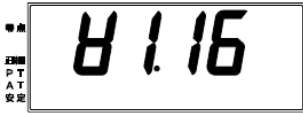




(多重押し)

	<p>ユーザパラメータ設定モード 計量時に零点リセットキーと風袋引きキーを同時に押すとユーザパラメータ設定モードに入り、各種ユーザパラメータの設定を行うことができます。 ※ユーザパラメータの変更方法は、[4-3 項]参照</p>
---	---


3章 基本操作について

3-1. 計量のしかた



※電源をオンして、250gの品物を計量する場合

	操作説明	表示内容
①	<p>⏻を押してください。</p> <p>検定品であればバージョンが表示され、全ての表示・ランプが点灯した後に、0を表示します。(検定外品であればバージョンは表示しません。)</p> <p>バージョン表示の例(バージョン 1.16 の場合)</p> 	 <p>↓</p> <p>バージョン表示</p> <p>↓</p>  <p>↓</p> 
②	<p>はかりに品物を載せてください。</p> <p>質量 (250g) を表示し、はかりが安定すると安定サインが点灯します。</p>	

3-2. 電源オフのしかた


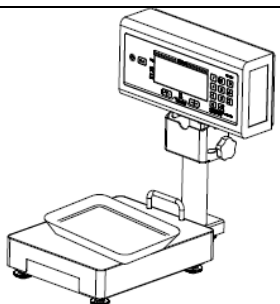

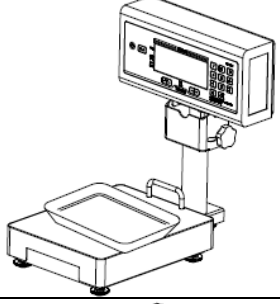
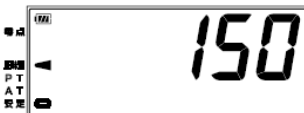
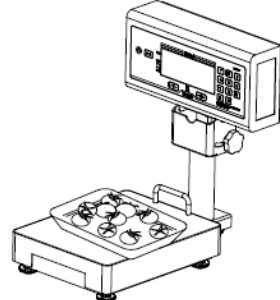
	操作説明	表示内容
①	<p>⏻を押し続けてください。電源がオフします。</p>	

3-3. 零点リセットのしかた

	操作説明	表示内容
①	<p>⏻を押してください。</p> <p>零点をリセットし、0を表示します。</p> <p>このとき、零点サインが点灯します。</p>	 <p>→</p> 

3-4. ワンタッチ風袋引きのしかた

例) 20gの容器を風袋引き後、150gの品物を計量する場合

	操作説明	表示内容	参考図
①	容器をはかりに載せてください。 表示部には容器の質量（20g）を表示します。	 The scale display shows the number '20'. To the left of the display, there are four indicator lights labeled '0.0g', 'PT', 'AT', and '安定' (Stable). The '安定' light is illuminated.	 A line drawing of a platform scale with a weighing pan. A rectangular container is placed on the weighing pan.
②	安定サインが点灯したら →T← を押します。正味量サインが点灯し、0g を表示します。	 The scale display shows '0'. The indicator lights are '0.0g', 'PT', 'AT', and '安定'. The 'AT' (Net Weight) light is illuminated.	 The scale is shown with the weighing pan empty.
③	品物を載せてください。 容器の質量を差し引いた品物の正味量（150g）を表示します。	 The scale display shows '150'. The indicator lights are '0.0g', 'PT', 'AT', and '安定'. The 'AT' light is illuminated.	 The scale is shown with the weighing pan containing several small, round items.

ワンタッチ風袋引きの取り消しかた

・ワンタッチ風袋引き中、はかりから容器を取り除き、**→T←** を押すとワンタッチ風袋引きを取り消すことができます。

4章 ユーザパラメータについて

4-1. ユーザパラメータについて

DP-6601 では、お客さまが使用環境に応じてはかりを最適に使用できるように設定を変更することができます。下記のユーザパラメータ表をよくご覧になり、必要に応じて設定を変更してください。

4-2. ユーザパラメータ表


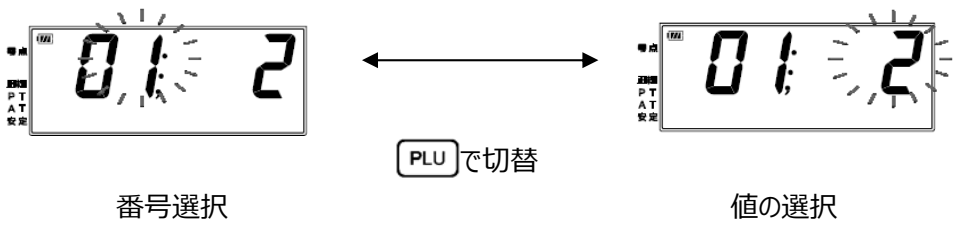
番号	項目	設定値	機能説明（下線__は出荷時設定）
#01	マルチファンクションの機能選択 5-4 項および 6 章で説明しているマルチファンクション機能の機能選択を行います。	0: 設定禁止 1: 定量計量機能 2: <u>チエッカ機能</u> 3: ランク選別機能 4: 計数機能 5: ランク選別組合せ機能	
#03	判定用ランプ点灯タイミング選択（マルチファンクション用パラメータ） マルチファンクション機能使用時、軽量、適量、過量のどのタイミングで判定用ランプを点灯するか設定できます。	0: 点灯しない 1: 軽量点灯 2: <u>適量で点灯</u> 3: 過量で点灯 4: 軽量で点灯、過量で点滅	
#04	判別のタイミング（マルチファンクション用パラメータ） 判定用ランプ、およびランク選別時の表示について、判別のタイミングを設定できます。	0: <u>非安定時でも判別</u> 1: 安定時のみ判別	
#05	オートオフ時間の設定 オートオフ時間を設定できます。質量変化が無い状態で、ここで指定した時間が経過すると、自動的にはかりの電源がオフします。	0: オートオフ機能を使用しない 1: 5 分後オートオフ 2: 10 分後オートオフ 3: <u>15 分後オートオフ</u> 4: 30 分後オートオフ 5: 60 分後オートオフ	
#07	判別時表示値点滅の選択（マルチファンクション用パラメータ） マルチファンクション機能使用時、軽量、適量、過量の条件で主表示の数値を点滅するように設定できます。	0: <u>表示値を点滅しない</u> 1: 軽量時に表示値点滅 2: 適量時に表示値点滅 3: 過量時に表示値点滅 4: 軽量時または過量時に表示点滅 5: ユーザパラメータ#03:(判別用ランプ点灯タイミング)に同期させる	

番号	項目	設定値	機能説明（下線は出荷時設定）
#08	減算式計量の選択 (マルチファンクション用パラメータ) マルチファンクション機能使用時、減算式計量を使用するか設定できます。(5-5 項参照)	0: OFF(加算式動作) 1: ON(減算式動作)	
#09	使用地域補正 検定外品において、使用する地域による重力補正を行うことができます。(7-1 項参照) ※検定品は操作不可	0: 地区補正/重力補正しない 1~29: 設定禁止 30~210: 下記の数式より算出した数値となります。 (7.1 項に早見表があります) $\text{設定値} = (\text{重力加速度}[\text{m/s}^2] - 9.7600) \times \frac{10000}{b} + 90.$ 設定範囲：9.7600~9.8500[m/s ²] 最小設定範囲：0.0005[m/s ²]	
#11	減算チェックの完了タイミング 減算チェックの計量を完了するタイミングを設定できます。	0: 設定禁止(設定すると、計量完了しません) 1: 安定後に完了し、次の計量へ 2: 設定禁止(設定すると、1と同じ動作となります) 3: 設定禁止(設定すると、計量完了しません) 4: 適量安定後に完了し、次の計量へ 5: 設定禁止(設定すると、計量完了しません) 6: 設定禁止(設定すると、計量完了しません) 7: 設定禁止(設定すると、4と同じ動作となります)	
#21	適量時 OK サイン点灯 チェック機能などで、計量値が適量となった場合にOKサインを表示するかどうかを設定できます。	0: OFF(OKサインを表示しない) 1: ON(OKサインを表示する)	
#22	計量速度 安定しにくい品物を測る場合などは計量速度を下げて確実に計量できるよう設定できます。	0: 標準 1: 設定禁止(設定すると、0と同じ動作となります) 2: 精度重視	
#25	LEDの輝度 LED(判定用ランプ)の明るさを設定できます。	0: OFF 1: レベル 1(低輝度) 2: レベル 2 3: レベル 3(高輝度)	
#36	減算式チェック 値の表示時間 (マルチファンクション用パラメータ) 減算式チェックを使用時、計量結果を表示してから次の計量に移るまでの秒数を設定できます。	0: 計量結果を表示したまま、すぐに次の計量へ移る 1~30: 計量結果を 0.1 秒~3.0 秒 表示し、その後表示をクリアして次の計量へ移る (※出荷時設定は 10)	
#37	自動風袋引き機能 自動風袋引き機能を使用するかどうかを設定できます。	0: OFF(自動風袋引き機能を使用しない) 1: ON(自動風袋引き機能を使用する)	

4章 ユーザパラメータについて

番号	項目	設定値	機能説明 (下線は出荷時設定)
#38	<p>自動風袋引き機能 解除条件</p> <p>自動風袋引き機能使用時、風袋引きが解除する条件を設定できます。</p>	<p>0: 風袋を取り除くと解除</p> <p>1: 計量後、風袋を取り除くと解除</p>	<p>(※自動風袋引きされたあと、計量を行うまでは風袋を取り除いても風袋引きが解除されません。)</p>
#39	<p>自動風袋引き機能の動作目量</p> <p>自動風袋引き機能使用時、機能が動作する目量数を設定できます。</p>	<p>0: 4 目量以上で動作</p> <p>1~20: 1 目量~20 目量 以上で動作(出荷時設定は 4)</p>	
#163	<p>下限値簡単設定 許容値の単位</p> <p>下限値を簡単設定する際、許容値を目量で入力するか割合(%)で入力するかを設定できます。量は#164で設定できます。</p>	<p>0: 目量</p> <p>1: ターゲットに対する割合</p> <p>2: ひょう量に対する割合</p>	
#164	<p>下限値簡単設定 許容値</p> <p>下限値を簡単設定する際の、許容値の量を入力します。単位は#163で設定できます。</p>	0~255: #163で設定した単位の量(出荷時設定 10)	
#165	<p>下限値簡単設定 自動確定時間</p> <p>下限値を簡単設定する際、テンキーで数値入力後、自動で設定値を確定する時間を変更できます。自動で確定しないようにもできます。</p>	<p>0: 自動確定しない (負荷することで確定)</p> <p>1: 1 秒後</p> <p>2: 2 秒後</p> <p>3: 3 秒後</p> <p>4: 4 秒後</p> <p>5: 5 秒後</p>	
#166	<p>定量計量機能 表示の基準 (マルチファンクション用パラメータ)</p> <p>定量計量機能使用時の表示方式を設定できます。(6-2.1 項参照)</p>	<p>0: 下限値基準</p> <p>1: 適量範囲基準</p>	
#168	<p>サンプル設定 ランク範囲 (マルチファンクション用パラメータ)</p> <p>ランク選別組合せ機能の設定で、ランク質量を決める際のサンプル計量の計算ルールを設定できます。(6-4 項参照)</p>	<p>0: 狭い(1σ)</p> <p>1: 狭い(1.5σ)</p> <p>2: 普通(2σ)</p> <p>3: 広い(2.5σ)</p> <p>4: 広い(3σ)</p>	
#178	<p>サポート機能の選択 (副表示用パラメータ)</p> <p>ジャスト計量機能(品物の過不足質量を表示)もしくは不足質量表示機能(品物の過不足個数を表示)を設定できます。</p>	<p>0: 使用しない</p> <p>1: ジャスト計量機能</p> <p>2: 不足数量表示機能</p>	<p>(チェッカ機能使用時、表示右下には常に下限値を表示)</p> <p>(チェッカ機能で計量時、表示右下に過不足質量を表示)</p> <p>(チェッカ機能・計数機能で計量時、表示右下に過不足個数を表示)</p>

4-3. ユーザパラメータの変更方法

	操作説明	表示内容								
①	計量状態で、 →0← と →T← を同時に押すと、ユーザパラメータ設定モードに入ります。 最初の画面では、ユーザパラメータ#01 と、その設定値を表示します。									
②	<p>ユーザパラメータ設定時のキー操作は、以下の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="199 593 1444 784"> <tr> <td>PLU : パラメータ番号選択中は、そのパラメータ番号の設定値選択に移行する。</td> <td>[テンキー] : パラメータ番号もしくは設定値を入力する。</td> </tr> <tr> <td>設定値選択中は、設定値を確定してパラメータ番号選択に戻る。</td> <td>→0← : パラメータ番号を + 1 する</td> </tr> <tr> <td></td> <td>→T← : パラメータ番号を - 1 する</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⏻ : はかりを再起動する。</td> </tr> </table>	PLU : パラメータ番号選択中は、そのパラメータ番号の設定値選択に移行する。	[テンキー] : パラメータ番号もしくは設定値を入力する。	設定値選択中は、設定値を確定してパラメータ番号選択に戻る。	→0← : パラメータ番号を + 1 する		→T← : パラメータ番号を - 1 する		⏻ : はかりを再起動する。	
PLU : パラメータ番号選択中は、そのパラメータ番号の設定値選択に移行する。	[テンキー] : パラメータ番号もしくは設定値を入力する。									
設定値選択中は、設定値を確定してパラメータ番号選択に戻る。	→0← : パラメータ番号を + 1 する									
	→T← : パラメータ番号を - 1 する									
	⏻ : はかりを再起動する。									
										
③	(重要) 設定値を変更した場合は、必ず PLU を押して値を確定してから電源をオフしてください。 確定操作を行わないと、設定値の変更は更新されませんのでご注意ください。									

ユーザパラメータの設定項目と設定値の説明については、4-2 項をご確認ください。

5章 各種機能についての説明

5-1. プリセット風袋引き機能



プリセット風袋引き機能は、予めわかっている風袋量を数値入力により設定・登録できる機能です。プリセット風袋量は品種データに紐づけて登録することができ、品種データが呼び出されると同時にプリセット風袋量も呼び出されます。

※プリセット風袋量だけを品種データとして登録することはできません。下限値などの設定値登録を行う必要があります。

※計数機能使用時、もしくは減算式計量では、プリセット風袋引き機能は使用できません。



※自動風袋引き機能とは同時に動作しません。同時に設定している場合、プリセット風袋引き機能が有効になり、自動風袋引き機能は無効になります。

プリセット風袋引き機能 簡単設定のしかた 例) プリセット風袋量 21g を設定する場合

	操作説明	表示内容
①	[テンキー]で「2」「1」と入力し、表示が点滅している間に →T← を押します。	
②	質量表示が「-21」となり、画面左の「PT」サインが点灯します。 プリセット風袋量 21g を差し引いた計量ができます。	

プリセット風袋引き機能 簡単登録のしかた ※事前に下限値などの品種情報を設定しておく必要があります。

例) チェッカ機能使用時、プリセット風袋量 21g を品種 2 に登録する場合

	操作説明	表示内容
①	下限値および風袋量が設定されている状態で、 PLU を長押しします。 ※下限値の設定方法は、6-1 項をご参照ください。	
②	品種番号選択画面に移行します。[テンキー]で「2」と入力し、 PLU を押すと品種 2 に現在設定中の下限値・上限値・プリセット風袋量が登録されます。 ※下限値が設定されていない場合は、プリセット風袋量は登録できません。 ※ワンタッチ風袋引きで設定した風袋量も、この方法で登録出来ます。	

プリセット風袋引き機能 品種登録のしかた

各マルチファンクション機能の「通常登録(修正)のしかた」を参照してください。(6章参照)

プリセット風袋引き機能 品種登録したものの呼び出ししかた

各マルチファンクション機能の「計量のしかた」を参照してください。(6章参照)

※プリセット風袋引き中、はかりに何も載っていない状態で **→T←** を押すとプリセット風袋引きが解除されます。

プリセット風袋引き解除後に再び有効にしたい場合は、もう 1 度簡単設定もしくは品種呼び出しを行ってください。



5-2. 自動風袋引き機能

自動風袋引き機能は、風袋引きキーを押さなくても容器を載せるだけで風袋引きすることができる機能です。この機能では、零点の状態から最初に計量した値を容器とみなし、その質量値を自動で風袋引きします。

※減算式計量(5-5項)では、自動風袋引き機能をオンにしても動作しません。

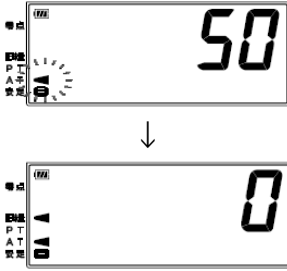
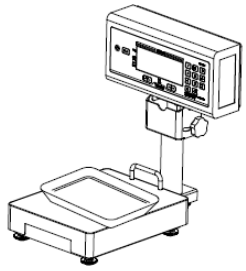
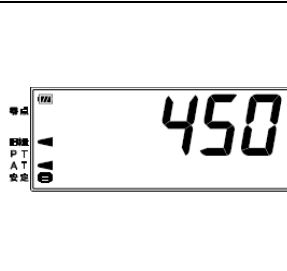
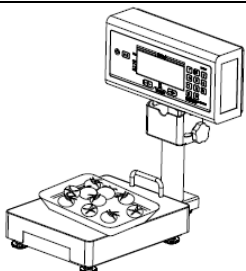
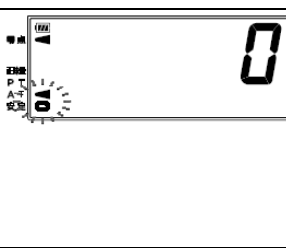
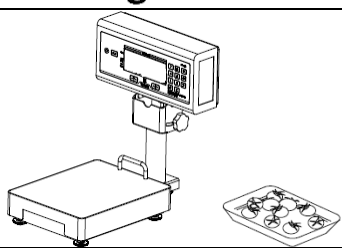
※プリセット風袋引き機能とは同時に動作しません。同時に設定している場合、プリセット風袋引き機能が有効になり、自動風袋引き機能は無効になります。

自動風袋引き機能 設定のしかた

	操作説明	表示内容
①	ユーザパラメータ#37を「1」に設定してください。 ※ユーザパラメータの設定方法：[4-3項]参照	
②	設定後はかりを再起動すると、自動風袋引き機能が有効になります。	

自動風袋引き機能 計量のしかた

例)50gの容器を風袋引き後、450gの品物を計量する場合

	操作説明	表示内容	参考図
①	表示が0の状態ではかりに容器を載せてください。 自動で容器の質量(50g)が風袋引きされます。 ※自動風袋引きされる前は、「AT」サインが点滅します。自動風袋引きされると、点滅が点灯に切り替わります。		
②	自動風袋引き後に載せた値は品物とみなし、正味量を表示します。		
③	はかりから容器を含む全ての品物を取り除くと、自動風袋引きは解除されます。再び容器を載せると、その質量値が自動で風袋引きされます。		


※③で品物と容器を取り除いても、はかりの総量が0gになっていなければ自動風袋引きは解除されませんので、ご注意ください。

※ユーザパラメータ#38の設定値を変更することで、自動風袋引き解除のタイミングを変えることができます。ユーザパラメータ#38を「1」に設定すると、上記①で自動風袋引きを行ったあと、何らかの計量を行うまでは容器を取り除いても自動風袋引きは解除されません。

5-3. オートオフ機能

オートオフ機能は、一定時間はかりを使用しない時間が続くと自動的にはかりの電源をオフする機能です。AC アダプタ(オプション)使用時は、設定を行っていてもオートオフは行いません。工場出荷時、オートオフ機能は「15分」に設定されています。




オートオフ機能 設定のしかた

	操作説明	表示内容
①	<p>ユーザパラメータ#05を「1」～「5」に設定してください。「0」に設定すると、オートオフ機能をオフにします。「1」、「2」、「3」、「4」、「5」に設定すると、それぞれ5分、10分、15分、30分、60分後に電源がオフします。</p> <p>※ユーザパラメータの設定方法：[4-3項]参照</p>	




5-4. マルチファンクション機能



マルチファンクション機能とは、よりスピーディーに且つ正確な定量計量作業をサポートするための大和製衡独自の機能です。DP-6601では、チェッカ機能(標準)、定量計量機能、ランク選別機能、ランク選別組合せ機能、計数機能の5つを搭載しています。それぞれの特徴を理解し、作業方法に応じて有効に活用してください。

マルチファンクション機能 機能選択のしかた

	操作説明	表示内容
①	<p>ユーザパラメータ#01を使用する機能に設定してください。</p> <p>※ユーザパラメータの設定方法：[4-3項]参照</p>	
②	<p>設定変更後、を押してかりを再起動すると、新しいマルチファンクション機能に更新されます。</p>	

マルチファンクション機能 品種の呼び出しかた 例) チェッカ機能 品種番号02を呼び出す場合

	操作説明	表示内容
①	<p>※予め品種番号01、02に品種データが登録されているものとします。</p> <p>電源をオンした後に  を押してください。</p> <p>チェッカ機能を示す「CHK:」が表示され、下二桁に品種番号を表示します。</p> <p>※表示されるアルファベットはマルチファンクション機能により異なります。</p> <p>※品種番号表示中に  を押すと、もとの計量状態に戻ります。</p>	

②	<p>品種番号を入力します。 [テンキー]で品種番号「2」を入力後、PLUを押してください。</p> <p>※品種データが登録されている品種番号が表示されているときは、青色ランプが点灯します。</p> <p>※右画面でPLUを押し続けると、その品種データを編集できます。</p>	
③	<p>登録している品種データを呼び出し、作業を開始することができます。</p> <p>※登録されていない品種番号は、この操作を行っても設定値を呼び出すことはできません。</p> <p>表示の左下にはチェックモードを示す「CHECK」マークが点灯します。</p>	

5-5. 減算式計量機能

以下の機能については、ユーザパラメータ#08を「1」にすることにより減算式計量でご使用できます。

[減算式計量が可能なマルチファンクション機能]

- ・チェック機能 ※減算式の場合はジャスト計量機能および不足数量機能は使用できません。
- ・ランク選別機能
- ・ランク選別組合せ機能 ※「ランク選別計量モード」のみ。「組合せ計量モード」は、減算式ではない通常の計量になります

減算式計量では、はかりに全ての品物を載せると自動的に風袋引きされ、この状態から取り除いたものに対して各機能の判別を行います。

チェック機能の場合、判別後に次の計量に移る条件はユーザパラメータ#11に依存します。

ユーザパラメータ#11 減算チェックの完了タイミング

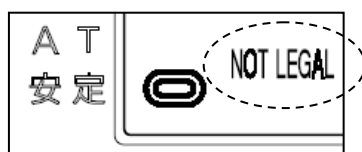
- 1：安定後に完了し、次の計量へ
- 4：適量安定後に完了し、次の計量へ

※設定値「0」、「2」、「3」および「5」～「7」は、選択しないでください。

ランク選別機能およびランク選別組合せ機能の場合は、ものを取り除くと安定後に判別完了します。そのまま次のものを取り除くと、次のものを判別します。

[減算式計量についての注意事項]

- ・減算式計量については、検定品やマルチファンクション機能に関わらず取引証明にはお使いいただけません。



※表示左下に「NOT LEGAL」と表示されているときは、取引証明にはお使いいただけません。

6章 マルチファンクション機能の使いかた

6-1. チェッカ機能(上下限判別機能)

チェッカ機能について

用途	チェッカ(上下限判別)作業
計量方式	<p>適量範囲の上限値と下限値を設定し、はかりに載せた品物が適量か否かを判別します。</p> <p>※サポート機能を設定して計量すると、右下の副表示に不足量を表示します。</p>
メリット	品物が適量かどうか一目でわかり、取引証明用としても使用できます。
設定値	<ul style="list-style-type: none"> ・適量範囲の下限値 ・適量範囲の上限値 ・サンプル計量回数と1回のサンプル計量(サポート機能「不足数量表示機能」使用時) ・プリセット風袋引き量
主表示 表示内容	質量値
副表示 表示内容	下限値、不足質量、不足回数(ユーザパラメータにより選択)
最大品種登録数	99 品種

●チェッカ計量では、適量範囲の下限値①と上限値②の2点を設定します。


軽量	適量	過量
ランプ消灯	ランプ青色点灯	ランプ消灯
	① ↑ 200g(下限値)	② ↑ 229g(上限値)

※青色ランプの点灯条件は、ユーザパラメータで変更できます。

※上記は、ひょう量 3000g の場合です。



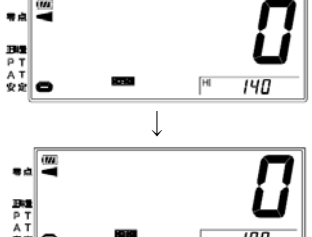
チェッカ機能 下限値簡単設定のしかた 例) 下限値 100g を設定する場合

	操作説明	表示内容
①	あらかじめユーザパラメータ設定画面にてユーザパラメータ#01 を「2」に設定しておいてください。※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項]参照	
②	ゼロを表示している状態で、[テンキー]で「1」「0」「0」と入力し、副表示が点滅している間にはかりに物を載せます。 ※物を載せなくても、入力後 3 秒たてば自動で次に進みます。	

③	<p>副表示が「LO 100g」となり、表示左下の「CHECK」サインが点灯します。 下限値 100g をターゲットとした計量ができます。 ※このときの上限值は、ユーザパラメータ#163 と#164 で指定した値により自動で決まります。出荷時設定では、上限値は「下限値+10 目量」となります。</p>	
---	---	---





チェッカ機能 上限値簡単設定のしかた

例) 下限値 100g 設定中に、上限値 140g を設定する場合

	操作説明	表示内容
①	<p>下限値 100g が予め設定されており、ゼロを表示している状態で、[テンキー]で「1」「4」「0」と入力し、副表示が点滅している間に  を押します。 ※点滅のまま 3 秒経過すると、下限値として設定されますのでご注意ください。</p>	
②	<p>副表示が「HI 140g」→「LO 100g」となり、下限値 100g、上限値 140g をターゲットとした計量ができます。 ※上限値簡単設定後、下限値を簡単設定すると上限値はユーザパラメータ#163 と#164 により自動設定されたものに更新されます。</p>	





チェッカ機能 簡単登録のしかた




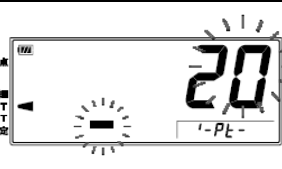

例) 簡単設定した下限値 100g、上限値 140g を、品種 5 に登録する場合

	操作説明	表示内容
①	<p>ゼロを表示していて下限値 100g および上限値 140g が設定されている状態で、 を長押しします。</p>	
②	<p>品種番号選択画面に移行します。[テンキー]で「5」と入力し、 を押すと品種 5 に現在設定中の下限値・上限値・プリセット風袋量が登録されます。</p>	




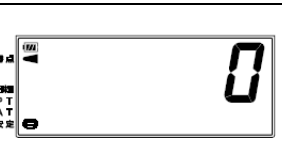
チェッカ機能 通常登録(修正)のしかた

例) 品種番号 2 を選択し、適量範囲を 300g 以上 315g 以下に設定する場合

	操作説明	表示内容
①	<p>品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてユーザパラメータ #01 を「2」に設定しておいてください。※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項]参照</p>	
②	<p>電源をオンした後に  を押してください。 チェッカ計量を示す「CHK」が表示され、下 2 桁に品種番号を表示します。 ※品種番号表示中に  を押すと、もとの計量画面に戻ります。 ※品種データが登録されている品種番号が表示されているときは、青色ランプが点灯します。</p>	


③	品種番号を入力します。 [テンキー]で品種番号「2」を入力後、 PLU を長押ししてください。	
④	下限値を入力します。 [テンキー]で質量「3」「0」「0」を入力後、 PLU を押してください。 ※右の画面で -0- を押すと品種選択画面に戻ります。	
⑤	上限値を入力します。 [テンキー]で質量「3」「1」「5」を入力後、 PLU を押してください。 ※右の画面で -0- を押すと下限値入力画面に戻ります。	
⑥	プリセット風袋量を入力します。※不要であれば、0のまま PLU を押してください。 [テンキー]で質量「2」「0」を入力後、 PLU を押してください。 ※右の画面で -0- を押すと上限値入力画面に戻ります。	
⑦	品種番号 2 にデータが登録されました。ここで登録したデータは、電源をオフしても呼び出すことができます。 チェッカ機能を使った作業を行うことができます。	

チェッカ機能 計量のしかた 例) 適量範囲を 300g 以上 315g 以下として作業をおこなう場合

	操作説明	表示内容
①	作業を行う場合は、 PLU を押して品種番号選択画面を呼び出し、[テンキー]で作業を行う品種番号「2」を入力して、 PLU を押してください。登録した品種を呼び出して作業を開始することができます。 ※登録されていない品種番号は、この操作で設定値を呼び出すことはできません。 別の呼び出し方法（品種簡単呼び出し） ゼロが表示されている状態で[テンキー]で「2」を入力し、表示が点滅している間に PLU を押します。この操作でも品種データを呼び出すことができます。	
②	はかりに品物を載せていきます。 300g～315g になると、適量を示す青色ランプが点灯します。 ※最小測定量(20 目量)未満では、青色ランプは点灯しません。	 <p>ランプ青点灯</p>
③	300g に満たない場合や、適量範囲の上限値 315g を超えた場合、青色ランプは点灯しません。	
①	(品種呼び出し前の通常表示に戻す場合) はかりからすべての物を降ろし、零点サイン点灯後、 0 を押してください。 ※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り替えはできません。	





6-1.1) ジャスト計量機能

ジャスト計量機能 設定のしかた

	操作説明	表示内容
①	ユーザパラメータ#178 を 1 に設定してください。 ※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項]参照	
②	設定後はかりを再起動すると、ジャスト計量機能が有効になります。	

ジャスト計量機能 計量のしかた



例) 適量範囲を 300g 以上 315g 以下として作業をおこなう場合

	操作説明	表示内容
①	基本的な品種呼出方法、質量表示(メイン画面)、ランプ点灯ルールはチェック機能と同じです。はかりに物が載っていない場合、表示右下には下限値を表示します。	
②	はかりに品物を載せていきます。 適量範囲の下限値 300g に満たない場合、表示右下に「不足質量」を表示します。 適量範囲の上限値 315g を超えた場合、表示右下に「超過質量」を表示します。 適量になれば、適量を示す青色ランプが点灯します。	 ↑ 軽量するとき  ↑ 過量するとき  ↑ 適量するとき (ランプ青点灯)

6-1.2) 不足数量機能





※不足数量表示機能を使用するには、下限値を登録し、さらに単重設定する必要があります。

不足数量表示機能 設定のしかた 1(機能を有効にする)





	操作説明	表示内容
①	ユーザパラメータ#178 を「2」に設定してください。 ※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項]参照	
②	設定後はかりを再起動すると、不足数量表示機能が有効になります。	

不足数量表示機能 設定のしかた 2(単重を登録する)

例) 品種番号 2 を選択し、適量範囲を 300g 以上 315g 以下に設定し、10 個のサンプルを用いて単重設定する場合

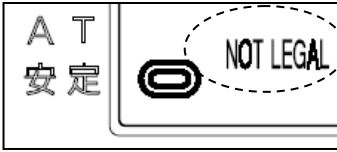
	操作説明	表示内容
①	単重設定画面までは、22 ページの「チェック機能 通常登録(修正)のしかた①～⑤」を参照して、上限値まで設定を行ってください。	
②	単重をサンプル計量します。まずは、サンプル計量時に載せる個数を入力します。 [テンキー]で載せる個数「1」「0」を入力後、 [PLU] を押してください。 ※右の画面で [←0→] を押すと上限値入力画面に戻ります。	
③	上記②で入力した個数(ここでは 10 個)を、はかりの載台の上に載せてください。その後、 [PLU] を押してください。 ※サンプル計量時でも零点リセット、ワンタッチ風袋引きは可能です。 ※サンプル計量中も自動風袋引き機能は有効です。自動風袋引き機能をオンしている場合は、最初に容器を載せてください。 ※ [←0→] を長押しすると、現在のサンプル計量結果を破棄してサンプル個数入力画面に戻ります。 ※予め登録されている品種データを編集(修正)している場合は、はかりに何も載せないで [PLU] を押すと、前回のサンプル計量設定を保持して次に進みます。	
④	プリセット風袋量を入力します。※不要であれば、0 のまま [PLU] を押してください。 [テンキー]でプリセット風袋量「2」「0」を入力後、 [PLU] を押してください。 ※右の画面で [←0→] を押すとサンプル計量画面に戻ります。	
⑤	データが登録されました。ここで登録したデータは、電源をオフしても呼び出すことができます。チェック機能(不足数量機能)を使った作業を行うことができます。	

不足数量表示機能 計量のしかた 例) 適量範囲を 300g 以上 315g 以下として作業をおこなう場合

	操作説明	表示内容
①	基本的な品種呼出方法、質量表示(メイン画面)、ランプ点灯ルールはチェック機能(21 ページ参照)と同じです。はかりに物が載っていない場合、表示右下には下限値を表示します。	
②	はかりに品物を載せていきます。 適量範囲の下限値 300g に満たない場合、表示右下に「不足数量○コ」を表示します。 適量範囲の上限値 315g を超えた場合、表示右下に「超過数量○コ」を表示します。 適量になれば、適量を示す青色ランプが点灯します。	 <p>↑ 軽量のとき</p>  <p>↑ 過量のとき</p>  <p>↑ 適量のとき (ランプ青点灯)</p>

6-2. 定量計量機能

(注意) 定量計量機能は、検定品であっても取引証明にはお使いいただけません。



※表示左下に「NOT LEGAL」と表示されているときは、取引証明にはお使いいただけません。

定量計量機能について

用途	定量詰め作業
計量方式	<p>目標値をマイナス表示し、ぴったり適量になると表示は 0g 表示します。</p>
メリット	目標値まであといくら足りないか一目瞭然となり、だれでも簡単に作業できます。
設定値	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値 ・許容値(目標値より何 g 許容できるか) ・プリセット風袋引き量(プリセット風袋引き機能使用時)
主表示 表示内容	目標までの不足質量もしくは超過質量
副表示 表示内容	目標値
最大品種登録数	99 品種

●定量計量では、目標値①とその許容値②の2点を設定します。



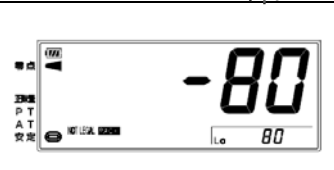
軽量	適量	過量
ランプ消灯	ランプ青色点灯	ランプ消灯
	①	②
	↑	↑
	100g(目標値)	(100+)9g(許容値)

※青色ランプの点灯条件は、ユーザパラメータで変更できます。

※上記は、ひょう量 3000g の場合です。



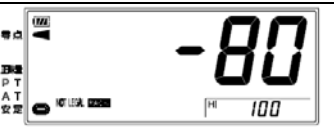
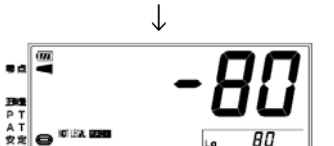
定量計量機能 目標値簡単設定のしかた

例) 目標値 80g を設定する場合

	操作説明	表示内容
①	あらかじめユーザパラメータ設定画面にてユーザパラメータ#01 を「1」に設定しておいてください。※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項]参照	
②	ゼロを表示している状態で、[テンキー]で「8」「0」と入力し、副表示が点滅している間にはかりに物を載せます。 ※物を載せなくても、入力後 3 秒たてば自動で次に進みます。	
③	副表示が「LO 80g」となり、表示左下の「PACK」サインが点灯します。 目標値 80g をターゲットとした計量ができます。 ※このときの許容値は、ユーザパラメータ#163 と#164 で指定した値により自動で決まります。出荷時設定では、許容値は「10 目量」となります。	





定量計量機能 許容値簡単設定のしかた

例) 目標値 80g 設定中に、許容値 20g を設定する場合

	操作説明	表示内容
①	目標値 80g が予め設定されており、ゼロを表示している状態で、[テンキー]で「2」「0」と入力し、副表示が点滅している間に  を押します。 ※点滅のまま 3 秒経過すると、目標値として設定されますのでご注意ください。	
②	副表示が「HI 100g」→「LO 80g」となり、目標値 80g、許容値 20g をターゲットとした計量ができます。 ※許容値簡単設定後、目標値を簡単設定すると許容値はユーザパラメータ #163 と#164 により自動設定されたものに更新されます。	 ↓ 







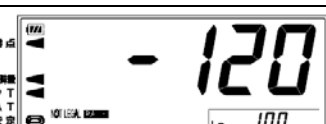
定量計量機能 簡単登録のしかた

例) 簡単設定した目標値 80g、許容値 20g を、品種 3 に登録する場合

	操作説明	表示内容
①	ゼロを表示していて目標値 80g および許容値 20g が設定されている状態で、  を長押しします。	
②	品種番号選択画面に移行します。[テンキー]で「3」と入力し、  を押すと品種 3 に現在設定中の目標値・許容値・プリセット風袋量が登録されます。	



定量計量機能 通常登録(修正)のしかた


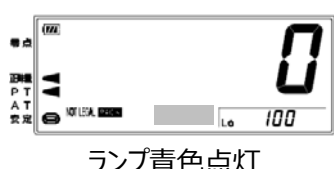



例) 品種番号 3 を選択し、適量範囲を 100g 以上 120g 以下に新規登録する場合

	操作説明	表示内容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてユーザパラメータ #01 を「1」に設定しておいてください。※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項] 参照	
②	電源をオンした後に PLU を押してください。 定量計量を示す「PAC」が表示され、下 2 桁に品種番号を表示します。 ※品種番号表示中に ON を押すと、もとの計量画面に戻ります。 ※品種データが登録されている品種番号が表示されているときは、青色ランプが点灯します。	
③	品種番号を入力します。 [テンキー]で品種番号「3」を入力後、 PLU を長押ししてください。	
④	目標値を入力します。 [テンキー]で目標質量「1」「0」「0」を入力後、 PLU を押してください。 ※右の画面で +0- を押すと品種番号選択画面に戻ります。	
⑤	許容値を入力します。 [テンキー]で許容質量「2」「0」を入力後、 PLU を押してください。 ※右の画面で +0- を押すと目標値入力画面に戻ります。	
⑥	プリセット風袋量を入力します。※不要であれば、0 のまま PLU を押してください。 [テンキー]でプリセット風袋量「2」「0」を入力後、 PLU を押してください。 ※右の画面で +0- を押すと上限値入力画面に戻ります。	
⑦	品種番号 3 にデータが登録されました。ここで登録したデータは、電源をオフしても呼び出すことができます。 定量計量機能を使った作業を行うことができます。	

定量計量機能 計量のしかた


例) 適量範囲を 100g 以上 120g 以下として作業をおこなう場合

	操作説明	表示内容
①	作業を行う場合は、 PLU を押して品種番号選択画面を呼び出し、[テンキー]で作業を行う品種番号「3」を入力して、 PLU を押してください。登録した品種を呼び出して作業を開始することができます。 ※登録されていない品種番号は、この操作で設定値を呼び出すことはできません。 別の呼び出し方法（品種簡単呼び出し） ゼロが表示されている状態で[テンキー]で「3」を入力し、表示が点滅している間に PLU を押します。この操作でも品種データを呼び出すことができます。	 ↓ 

②	<p>はかりに品物を載せていきます。</p> <p>100g に満たない場合、青色ランプは点灯しません。</p> <p>例) 95g を載せた場合、目標値 100g に対して「-5」と表示します。</p>	
③	<p>100g～120g の範囲に入ると、適量を示す青色ランプが点灯します。</p> <p>例) 100g を載せた場合、目標値 100g に対して「0」と表示します。</p>	 <p>ランプ青色点灯</p>
④	<p>許容範囲の 120g を超えた場合、青色ランプは点灯しません。</p> <p>例) 132g を載せた場合、目標値 100g に対して「32」と表示します。</p>	
①	<p>(品種呼び出し前の通常表示に戻す場合)</p> <p>はかりからすべての品物を降ろし、零点サイン点灯後、 を押してください。</p> <p>※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り替えはできません。</p>	

6-2.1) 表示方式の変更方法

適量範囲基準への変更について

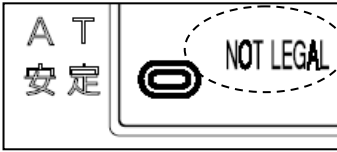
	操作説明	表示内容
①	<p>ユーザパラメータ設定画面にてユーザパラメータ#166 を「1」に設定することで、定量計量機能の主表示の表示方式を「適量範囲基準」に変更することができます。</p> <p>※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項]参照</p>	

例) 目標値 100g、許容値 5g で設定した場合の、100g に近づいたときの主表示(ひょう量 3000g の場合)

はかりに載っている質量	98g	99g	100g	101g	102g	103g	104g	105g	106g
「下限値基準」主表示 (ユーザパラメータ#166 = 0)	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6
「適量範囲基準」主表示 (ユーザパラメータ#166 = 1)	-2	-1	0	0	0	0	0	0	1

6-3. ランク選別機能

(注意) ランク選別機能は、検定品であっても取引証明にはお使いいただけません。



※表示左下に「NOT LEGAL」と表示されているときは、取引証明にはお使いいただけません。

ランク選別機能について

用途	ランク選別作業
計量方式	<p>あらかじめ、各ランクに相当する質量範囲をはかりに記憶させ、記憶した値に基づいてランクを表示します。</p> <p>※イラストは減算式のランク選別計量です。</p>
メリット	品物の重量ランクが一目瞭然となり、作業ミスを予防します。
設定値	各ランクの下限値、最終ランクの上限値
主表示 表示内容	ランク番号
副表示 表示内容	選別されたものの質量値
最大品種登録数	20 品種

- ランク選別計量では、各ランクの下限値と最終ランクの上限値を設定します。
ランク数は最大 12 まで設定可能です。







ランク外	ランク 1	ランク 2	ランク 3	ランク 4	ランク 5	ランク 6	ランク外
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	

- ランク選別機能の設定時は、表示目量よりも細かい目量で設定できます。
ただし、最小設定値は 4 目量となりますので、ランク 1 は 4 目量以上の値を設定してください。

ランク選別機能 登録(修正)のしかた



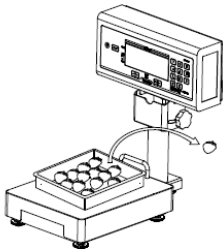
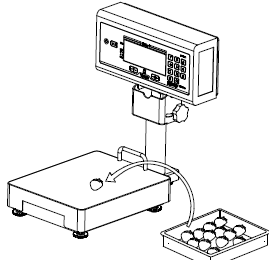
例) 品種番号 5 を選択し、ランク 1 を 100g 以上 200g 未満、ランク 2 を 200g 以上 300g 未満に設定する場合

	操作説明	表示内容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてパラメータ #01 を「3」に設定しておいてください。※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項]参照	



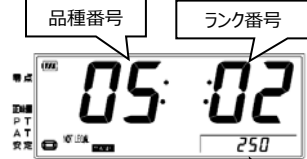






②	<p>電源をオンした後に PLU を押しください。</p> <p>ランク選別計量を示す「r n k」が表示され、下 2 桁に品種番号を表示します。</p> <p>※品種番号表示中に ON を押しすと、もとの計量画面に戻ります。</p>	
③	<p>品種番号を入力します。</p> <p>[テンキー]で品種番号「5」を入力後、PLU を長押ししてください。</p> <p>※品種データが登録されている品種番号が表示されているときは、青色ランプが点灯します。</p>	
④	<p>ランク 1 の下限値(100.0g)を入力します。</p> <p>[テンキー]で質量「1」「0」「0」「0」と入力後、PLU を押しください。</p> <p>※右の画面で -0- を押しと品種番号選択画面に戻ります。</p> <p>※小数点を消すことはできません。</p>	
⑤	<p>ランク 2 の下限値(200.0g)を入力します。</p> <p>[テンキー]で質量「2」「0」「0」「0」と入力後、PLU を押しください。</p> <p>※右の画面で +0+ を押しと、ランク 1 の下限値入力画面に戻ります。</p>	
⑥	<p>ランク 3 の下限値(すなわちランク 2 の上限値 300.0g)を入力します。</p> <p>※設定の都合上ランク 3 となっていますが、ランク 2 の上限値を入力します。</p> <p>[テンキー]で質量「3」「0」「0」「0」と入力後、PLU を押しください。</p> <p>※右の画面で -0- を押しと、ランク 2 の下限値入力画面に戻ります。</p>	
⑦	<p>ランク 4 の下限値を入力する画面になりますが、ここで 0 のまま PLU を押しと、それまで設定したデータが登録され、設定完了となります。</p> <p>これでランク選別機能を使った作業を行うことができます。</p>	

ランク選別機能 計量のしかた

ランク選別計量には、2 種類の計量方法があります。用途に合わせてご使用ください。

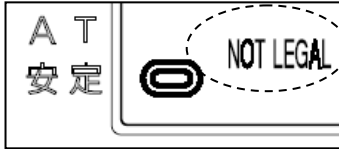
種類	減算式ランク選別	加算式ランク選別
ユーザパラメータ #08		
計量方法	<p>はかりにすべての品物を載せ、その中から取り除いた品物の質量に応じてランク選別します。</p> 	<p>はかりに個別に品物を載せ、載せた品物の質量に応じてランク選別します。</p> 

例) ランク1を100g以上200g未満、ランク2を200g以上300g未満として作業をおこなう場合

	操作説明	表示内容
①	<p>作業を行う場合は、PLUを押して品種番号選択画面を呼び出し、[テンキー]で作業を行う品種番号「5」を入力して、PLUを押してください。設定した品種にて作業を開始することができます。</p> <p>※登録されていない品種番号は、この操作で設定値を呼び出すことはできません。</p> <p>別の呼び出し方法（品種簡単呼び出し） ゼロが表示されている状態で[テンキー]で「5」を入力し、表示が点滅している間にPLUを押します。この操作でも品種データを呼び出すことができます。</p>	 <p>↓</p> 
②	<p>[減算式ランク選別の場合(ユーザパラメータ#08が「1」のとき)]</p> <p>まず、はかりにすべての品物を載せます。その後、品物をひとつずつ取り除いてください。品物の質量値をランク番号で表示します。</p> <p>例) 質量が250gの品物を取り除いた場合、「02」と表示します。</p>	 <p>↓</p> 
	<p>[加算式ランク選別の場合(ユーザパラメータ#08が「0」のとき)]</p> <p>品物をひとつずつ載せてください。品物の質量値をランク番号で表示します。</p> <p>例) 質量が170gの品物を載せた場合、「01」と表示します。</p>	 <p>↓</p> 
③	<p>品物の質量がどの設定ランクよりも軽い場合（この場合は100g未満）、アンダーバーを表示し、ランク表示は行いません。</p>	
④	<p>品物の質量がどの設定ランクよりも重い場合（この場合は300g以上）、オーバーバーを表示し、ランク表示は行いません。</p>	
①	<p>(品種呼び出し前の質量表示に戻す場合)</p> <p>はかりからすべての品物を降ろし、零点サイン点灯後、0を押してください。 ※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り替えはできません。</p>	

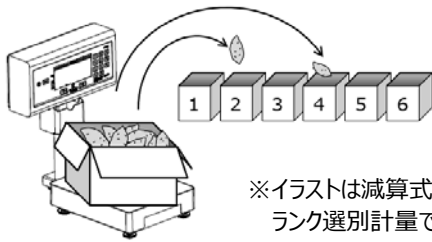
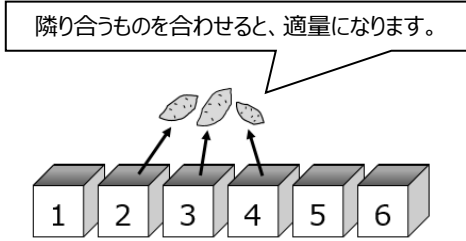
6-4. ランク選別組合せ機能

(注意) ランク選別組合せ機能には「①ランク選別計量モード」と「②組合せ計量モード」がありますが、「①ランク選別計量モード」の計量結果については、検定品であっても取引証明にはお使いいただけません。「②組合せ計量モード」で計量した結果については、検定品であれば取引証明用としてお使いいただくことができます。



※表示左下に「NOT LEGAL」と表示されているときは、取引証明にはお使いいただけません。



ランク選別組合せ機能について


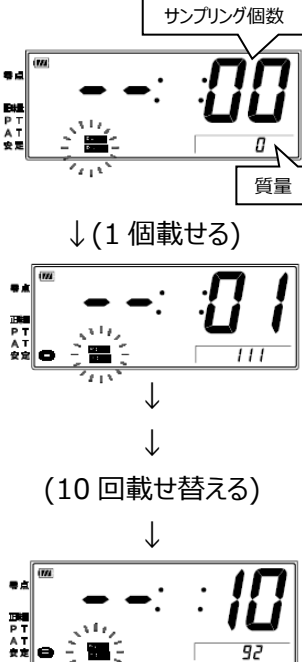
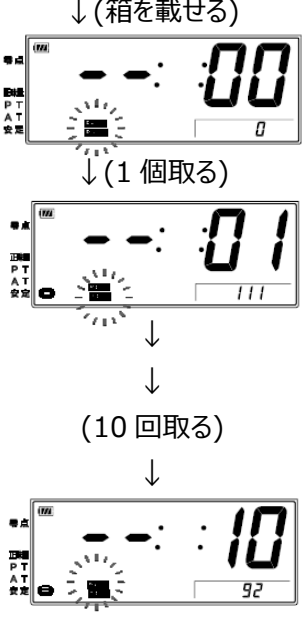


用途	定量詰め作業で、パックした質量のばらつきを少なくしたい時に使用します。	
計量方式	①ランク選別計量：あらかじめ、各ランクに相当する質量範囲をはかりに記憶させ、記憶した値に基づいてランクを表示します。 	②組合せ計量：ランク選別したものを組合せます。はかりで適量か否かを判断できます。 
メリット	ランク分けしてから組合せ作業を行うことで、パック詰め作業が簡単になります。	
設定値	・10 回以上のサンプル計量 ・組合せ個数 ・選別ランク数	
主表示 表示内容	①ランク番号	②質量値
副表示 表示内容	①選別したものの質量値	②組合せ個数
最大品種登録数	最大 20 品種	

- ランク選別組合せ計量では、設定中に入力したランク数とサンプル計量により自動で最適なランク質量範囲を決定します。
- ・選別するランク数が多いほど組合せ精度がよくなり、歩留まり・ばらつきが改善します。(設定可能なランク数は 3~9)
- ・ランク選別組合せ機能のご使用は、品物が正規分布に従っていることが前提条件となります。単重分布の平均値が偏っていたり、もしくは単重ばらつきの度合いや上下限値の設定によっては正しく計量できないことがありますのでご了承ください。

ランク選別組合せ機能 通常登録(修正)のしかた

例) 品種番号 5 を選択し、組合せ個数(1 パックの個数)3、ランク数 6 で設定する場合

	操作説明	表示内容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてユーザパラメータ #01 を「5」に設定しておいてください。※ユーザパラメータの設定方法:[4-3 項]参照	
②	電源をオンした後に PLU を押してください。 「rnK」が表示され、下 2 桁に品種番号を表示します。 ※右の画面で ON を押すと、もとの計量画面に戻ります。 ※品種データが登録されている品種番号を表示しているときは、青色ランプが点灯します。	


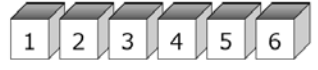


③	<p>品種番号を入力します。 [テンキー]で品種番号「5」を入力後、PLUを長押ししてください。</p>	
④	<p>ここで、複数個のサンプル計量を行います。(ランクを自動設定するため)</p> <p>[加算式ランク選別の場合 (ユーザパラメータ 08 が「0」のとき)] 品物を 1 個はかりに載せてください。主表示右側の回数が「01」になります。 別の品物に載せ替えると、主表示右側の回数が「02」になります。 これを繰り返してサンプルのばらつきを計測します。最低 10 回(10 個)を計量し、PLUを押すとはかりがサンプルのばらつきを計算し、ランクを自動設定します。 サンプル個数が多いほど精度がよくなり、後々精度の高い組合せが可能となります。</p> <p>※サンプル計量中は、右下に測定質量を表示します。 ※サンプル計量時でも零点リセット、ワンタッチ風袋引きは可能です。ただし、ワンタッチ風袋引きを行うと主表示右側の回数は「00」にリセットされます。 ※-0-を長押しすると、現在のサンプル計量結果を破棄して品種番号選択画面に戻ります。 ※予め登録されている品種データを編集している場合は、はかりに何も載せないでPLUを押すと前回のサンプル計量設定を保持します。</p>	 <p>↓ (1 個載せる)</p> <p>↓ (10 回載せ替える)</p>
④	<p>[減算式ランク選別の場合 (ユーザパラメータ 08 が「1」のとき)] まず、複数の品物を箱ごとにはかりに載せてください。 表示が変わりますので、はかりに載せた箱の中からひとつだけ取り除きます。これにより、主表示右側の回数が「01」になります。 更に、箱からまたひとつ取り除くと、主表示右側の回数が「02」になります。 これを繰り返してサンプルのばらつきを計測します。(一度取り除いたものは、再び箱の中に入れる必要はありません) 最低 10 回(10 個)を計量し、PLUを押すとはかりがサンプルのばらつきを計算し、ランクを自動設定します。 サンプル個数が多いほど精度がよくなり、後々精度の高い組合せが可能となります。</p> <p>※サンプル計量中は、右下に測定質量を表示します。 ※-0-を長押しすると、現在のサンプル計量結果を破棄してランク数入力画面に戻ります。 ※予め登録されている品種データを編集している場合は、はかりに何も載せないでPLUを押すと前回のサンプル計量設定を保持します。</p>	 <p>↓ (箱を載せる)</p> <p>↓ (1 個取る)</p> <p>↓ (10 回取る)</p>
⑤	<p>組合せ個数(1 パックの個数)を入力します。 [テンキー]で個数「3」を入力後、PLUを押してください。 ※右下に表示されている数値は、サンプル計量の平均値です。 ※右の画面で-0-を押すとサンプル計量画面に戻ります。</p>	
⑥	<p>ランク数を入力します。 [テンキー]でランク「6」を入力後、PLUを押してください。 ※右の画面で-0-を押すと組合せ個数入力画面に戻ります。</p>	

<p>⑦</p>	<p>品種番号 5 にデータが登録されました。ここで登録したデータは、電源をオフしても呼び出すことができます。</p> <p>ランク選別組合せ機能を使った作業を行うことができます。</p> <p>※減算式ランク選別の場合は、品物の箱をはかりから降ろしてください。</p> <p>※右の画面で PLU を押すと今登録した品種の作業モードに移ります。</p> <p>※主表示に表示されているのは組合せ率(パック詰め可以使用品物の割合)で、百分率であらわしています。この組合せ率は、あくまで目安となります。</p> <p>※右下には、自動計算された 1 パックの下限値と上限値を交互に表示します。</p> <p>※1 パックの上下限値の差を小さくしたい時は、ユーザパラメータ#168 を変更し、ランク分け範囲を狭くしてください。ただし、ランク分け個数を狭くすると、前記の組合せ率が悪くなり、ランク外判定される品物の個数が多くなります。初期設定では、ランク外個数を少なくするため、ランク分け範囲は最も広い設定(3σ)となっております。</p>	
<p>①</p>	<p>設定が正しくできなかった場合は、「INF09」と表示し、サンプル計量画面(④)に戻ります。設定が正しくできない場合、品物の単重ばらつきが小さすぎることが考えられます。サンプル計量時にできるだけ色々なサイズを選んでいただくようにしていただき、再度設定を行ってください。</p>	

ランク選別組合せ機能 計量のしかた 1 (ランク選別計量)

例) 組合せ個数 3、ランク数 6 で設定・登録した品種の場合


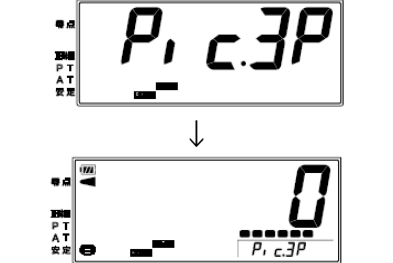
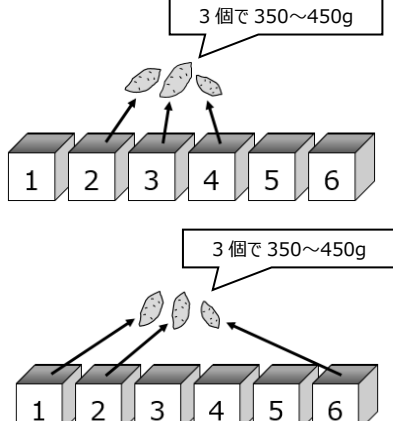


	操作説明	表示内容
<p>①</p>	<p>作業を行う場合は、PLU を押して品種番号選択画面を呼び出し、[テンキー]で作業を行う品種番号「5」を入力して、PLU を押してください。新たに設定した品種にて作業を開始することができます。</p> <p>※登録されていない品種番号は、この操作で設定値を呼び出すことはできません。</p> <p>別の呼び出し方法 (品種簡単呼び出し)</p> <p>ゼロが表示されている状態で[テンキー]で「5」を入力し、表示が点滅している間に PLU を押します。この操作でも品種データを呼び出すことができます。</p>	
<p>②</p>	<p>[加算式ランク選別の場合 (ユーザパラメータ#08 が「0」のとき)] 品物をひとつずつ載せてください。品物の質量値をランク番号で表示します。</p> <hr/> <p>[減算式ランク選別の場合 (ユーザパラメータ#08 が「1」のとき)] まず、複数の品物を箱ごとにはかりに載せてください。その後、品物をひとつずつ取り除いてください。品物の質量値をランク番号で表示します。</p>	
<p>③</p>	<p>品物の質量が設定されたどのランクよりも軽い場合、アンダーバーを表示し、ランク表示は行いません。</p>	

④	品物の質量が設定されたどのランクよりも重い場合、オーバーバーを表示し、ランク表示は行いません。	
⑤	<p>この例の場合、ランク 1 からランク 6 まで選別されます。</p> <p>選別した品物を入れるランク箱は、順番に並べておいてください。</p> <p>※順番に並んでいないと、次で行う組合せ計量ができません。</p> <p>※ランクの順番は、質量の軽い順とは限りません。</p>	
①	<p>(品種呼び出し前の通常表示に戻す場合)</p> <p>はかりからすべての品物を降ろし、零点サイン点灯後、を押してください。</p> <p>※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り替えはできません。</p>	

ランク選別組合せ機能 計量のしかた 2 (組合せ計量)

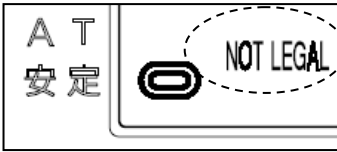
※ランク組合せ計量は、ユーザパラメータ#08 の設定値に関わらず加算式計量となります。減算式の計量はできません。

例) 自動設定の結果、適量範囲が 350g 以上 450g 以下と設定されて、作業をおこなう場合

	操作説明	表示内容
①	<p>※この組合せ計量を行うには、前頁の「ランク選別計量」が完了している必要があります。</p> <p>ランク選別モード中に  を押し続けることで、ランク組合せ計量モードに切り替わります。一瞬「Pic.3P」と表示し、その後計量画面に切り替わります。</p> <p>※この表示は、4 個組合せなら「Pic.4P」となります。</p>	
②	<p>隣り合う 3 ランクから、品物を 1 個ずつ取ると、適量範囲である 350~450g になります。</p> <p>※ランク 1 と最終ランクであるランク 6 も隣り合うランクです。</p> <p>(取り出し方の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランク 2、3、4 から 1 個ずつ取ります。 ・ランク 6、1、2 から 1 個ずつ取ります。 	
③	<p>はかりの主表示がゼロであることを確認してから、②で取った品物をはかりに載せます。</p> <p>適量になると、青色ランプが点灯します。</p> <p>※最小測定量(20 目量)未満では、青色ランプは点灯しません。</p> <p>適量にならない場合は、品種選択や品物を取るランクに間違いがないか、よくご確認ください。質量を確認したら、品物をはかりから降ろします。</p> <p>※ランク組合せ計量モードで  を押すと、ランク選別モードに戻ります。</p>	 <p>ランプ青色点灯</p>
④	②と③の手順を繰り返します。	

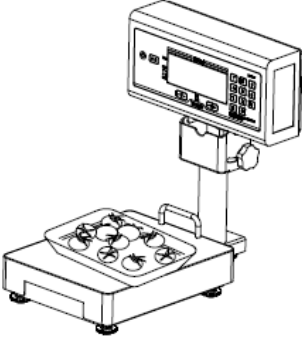

6-5. 計数機能

(注意) 計数機能は、検定品であっても取引証明にはお使いいただけません。




※表示左下に「NOT LEGAL」と表示されているときは、取引証明にはお使いいただけません。

計数機能について

用途	計数作業
計量方式	<p>あらかじめ数量の決まった品物から 1 個当たりの質量 (単重) を測定し、以降、品物全体の質量値から個数を計算します。</p>   <p>※下限個数設定時は、右下の副表示には質量でなく下限個数が表示されます。</p>
メリット	個数の定量作業に適しています。
設定値	<ul style="list-style-type: none"> ・サンプル計量の個数 と、1 回のサンプル計量 ・適量の下限個数 ・適量の上限個数(上下限機能使用時)
主表示 表示内容	個数
副表示 表示内容	質量値
最大品種登録数	99 品種


● 計数計量では、サンプル計量数の入力を行い、その後、サンプル計量を行います。

(サンプル計量数入力)

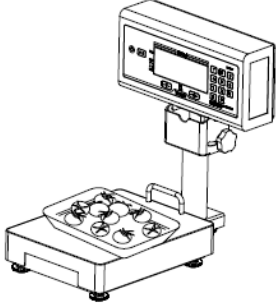


→

(サンプル計量)



入力したサンプル計量数分の品物を載せる



※容器は風袋引きします

(注意) サンプル計量値が 4 目量未満の場合、単重は計算されません。また、単重が 1 目量未満の場合、計量誤差を発生する危険性がありますので、計数機能は 1 目量以上の品物に対してお使いいただくことをお勧めします。

計数機能 単重 簡単設定のしかた

例) 10 個のサンプルを用いて、単重を簡単設定する場合

	操作説明	表示内容
①	あらかじめユーザパラメータ設定画面にてユーザパラメータ#01 を「4」に設定しておいてください。※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項]参照	
②	ゼロを表示している状態(計数機能を使用していない、起動時状態)で、[テンキー]で「1」「0」と入力し、副表示が点滅している間にはかりに 10 個の品物を載せませす。	
③	はかりの表示が安定すると、副表示に一瞬単重が表示され、表示左下の「PCS」サインが点灯します。これだけで品物の単重が登録され、主表示は質量表示から個数表示に切り替わります。このまま、計数機能を使った作業を行うことができます。副表示は単重を表示したあと、すぐに質量値表示となります。(載台の上に乗っている正味量を表示します。)	

計数機能 下限個数 簡単設定のしかた

例) 下限個数 20 個 を設定する場合

	操作説明	表示内容
①	計数機能を使用しており、0 コを表示している状態で、[テンキー]で「2」「0」と入力し、副表示が点滅している間にはかりに物を載せませす。 ※物を載せなくても、入力後 3 秒たてば自動で次に進みます。	
②	副表示が「LO 20 コ」となり、下限個数 20 個をターゲットとした作業ができます。 ※このときの上限個数は、ユーザパラメータ#163 と#164 で指定した値により自動で決まります。出荷時設定では、上限個数は「下限個数+10 個」となります。	

計数機能 上限個数 簡単設定のしかた

例) 下限個数 20 個設定中に、上限個数 22 個を設定する場合

	操作説明	表示内容
①	計数機能を使用し、下限個数が設定されており、0 コを表示している状態で、[テンキー]で「2」「2」と入力し、副表示が点滅している間に を押します。 ※点滅のまま 3 秒経過すると、下限個数として設定されますのでご注意ください。	

②	<p>副表示が「HI 22 コ」→「LO 20 コ」となり、下限個数 20 個、上限個数 22 個をターゲットとした計量ができます。</p> <p>※上限個数簡単設定後、下限個数を簡単設定すると、上限個数はユーザパラメータ#163と#164により自動設定されたものに更新されます。</p>	
---	--	--

計数機能 簡単登録のしかた

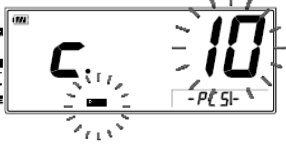
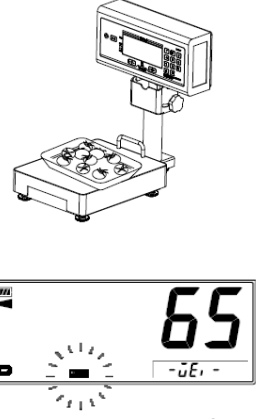


例) 簡単設定した下限個数 20 個、上限個数 22 個を、品種 4 に登録する場合

	操作説明	表示内容
①	計数機能を使用中、0 コを表示しており、下限個数 20 個および上限個数 22 個が設定されている状態で、 PLU を長押しします。	
②	品種番号選択画面に移行します。[テンキー]で「4」と入力し、 PLU を押すと品種 4 に現在設定中の単重・下限個数・上限個数・プリセット風袋量が登録されます。	


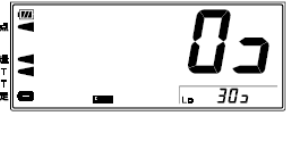

計数機能 通常登録(修正)のしかた

例) 品種番号 8 を選択し、下限個数 30 個、上限個数 31 個、10 個のサンプルを用いて単重を設定する場合


	操作説明	表示内容
①	品種データの登録前に、あらかじめユーザパラメータ設定画面にてユーザパラメータ #01 を「4」に設定しておいてください。※ユーザパラメータの設定方法：[4-3 項] 参照	
②	電源をオンした後に PLU を押してください。 計数計量を示す「PCS」が表示され、下 2 桁に品種番号を表示します。 ※品種番号表示中に ON を押すと、もとの計量画面に戻ります。 ※品種データが登録されている品種番号が表示されているときは、青色ランプが点灯します。	
③	品種番号を入力します。 [テンキー]で品種番号「8」を入力後、 PLU を長押ししてください。	
④	下限個数を入力します。 [テンキー]で下限個数「3」「0」を入力後、 PLU を押してください。 ※下限判別が必要でない場合は、「0」と入力してください。 ※右の画面で -0- を押すと品種選択画面に戻ります。	
⑤	上限個数を入力します。 [テンキー]で上限個数「3」「1」を入力後、 PLU を押してください。 ※上限判別が必要でない場合は、「0」と入力してください。 ※右の画面で -0- を押すと下限値入力画面に戻ります。	

⑥	<p>単重をサンプル計量します。まずはサンプル計量時に載せる個数を入力します。 [テンキー]で載せる個数「1」「0」を入力後、[PLU]を押してください。 ※右の画面で[-0-]を押すと品種番号選択画面に戻ります。</p>	
⑦	<p>ここで、単重を求めるためにサンプル計量を行います。 入力したサンプル計量数(10 個)の品物をはかりに載せて、安定後[PLU]を押してください。 ※参考として、副表示に測定質量を表示します。 ※サンプル計量時でも零点リセット、ワンタッチ風袋引きは可能です。 ※[-0-]を長押しすると、現在のサンプル計量結果を破棄してサンプル個数入力画面に戻ります。 ※予め登録されている品種データを編集(修正)している場合は、はかりに何も載せないで[PLU]を押すと、前回のサンプル計量設定を保持して次に進みます。</p>	
⑧	<p>プリセット風袋量を入力します。※不要であれば、0 のまま[PLU]を押してください。 [テンキー]でプリセット風袋量「2」「0」を入力後、[PLU]を押してください。 ※右の画面で[-0-]を押すとサンプル計量画面に戻ります。</p>	
⑨	<p>載せた品物の質量とサンプル数により単重が計算され、設定完了です。 品種番号 8 にデータが登録されました。ここで登録したデータは、電源をオフしても呼び出すことができます。 計数機能を使った作業を行うことができます。</p>	

計数機能 計量のしかた

	操作説明	表示内容
①	<p>作業を行う場合は、[PLU]を押して品種番号選択画面を呼び出し、[テンキー]で作業を行う品種番号「8」を入力して、[PLU]を押してください。登録した品種を呼び出し、作業を開始することができます。 ※登録されていない品種番号は、この操作で設定値を呼び出すことはできません。</p> <p>別の呼び出し方法 (品種簡単呼び出し) ゼロが表示されている状態で[テンキー]で「8」を入力し、表示が点滅している間に[PLU]を押します。この操作でも品種データを呼び出すことができます。</p>	 <p style="text-align: center;">↓</p> 
②	<p>はかりに品物を載せると、品物の個数を表示します。 上下限值を設定している場合は、載せた個数に応じて青ランプが点灯します。</p>	

※品種選択時、および呼び出し時に単重を表示しますが、単重は目量の 1/10 の値に丸めて表示しています。
実際の計算では丸める前の値を使用していますので、(表示単重×個数)が質量値になるとは限りません。

①	<p>(品種呼び出し前の通常表示に戻す場合) はかりからすべての品物を降ろし、零点サイン点灯後、[0]を押してください。 ※零点サインが点灯していない状態では、表示の切り替えはできません。</p>	
---	--	---

7章 検定外品（取引証明以外用）について

7-1. 使用地域別の重力加速度について


DP-6601（検定外品）は、使用地域補正機能を搭載しています。下表をご覧ください、ユーザパラメータ#09「使用地域補正」の設定値を変更して下さい（ユーザパラメータの設定方法は4.3項参照）。

地域名		都道府県	重力加速度の範囲(m/s ²)	ユーザパラメータ#09設定値
道北・道東地方 (十勝地方を除く)	①	道北地方（宗谷・上川・留萌）、 道東地方（網走・根室・釧路）	9.804~9.807	121
道央・道南 ・十勝地方	②	道央（石狩・後志・空知）、 道南（檜山・胆振・日高・渡島）、 十勝地方	9.803~9.806	119
東北地方	③	青森県、岩手県	9.801~9.804	115
	④	宮城県、秋田県	9.800~9.803	113
	⑤	山形県、宮城県	9.799~9.802	111
	⑥	福島県	9.798~9.801	109
関東甲信越地方	⑦	新潟県、茨城県	9.798~9.801	109
	⑧	栃木県	9.797~9.800	107
	⑨	千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、埼玉県、 東京都（八丈支庁・小笠原支庁を除く）	9.796~9.799	105
	⑩	長野県	9.795~9.798	103
	⑪	東京都（八丈支庁・小笠原支庁に限る）	9.794~9.796	100
北陸地方	⑫	福井県、富山県、石川県	9.797~9.800	107
東海・近畿 ・中国地方	⑬	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、 和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、兵庫県、 山口県、岡山県、鳥取県、広島県、島根県	9.796~9.799	105
四国地方	⑭	香川県、愛媛県、徳島県、高知県	9.795~9.797	102
九州地方	⑮	長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、 大分県、鹿児島県（薩摩・大隅地方に限る）	9.794~9.797	101
	⑯	鹿児島県（薩摩・大隅地方を除く）	9.791~9.794	95
沖縄地方	⑰	沖縄県	9.789~9.792	91

7-2. 校正（スパン調整）

DP-6601（検定外品）は、お客様自身による校正（スパン調整）が可能です。正しい計量を行うため、定期的に校正していただくことをおすすめします。OIML M2 級準拠の分銅を、下表よりご準備ください。

目量数	ひょう量：6000g	ひょう量：12000g
3000 目量	3000.0g	6000.0g
6000 目量	6000.0g	12000.0g

	操作	表示例
①	質量を表示しているとき、 →0← を押しながら →T← を押し、ユーザパラメータモードへ進みます。	
②	→0← を押しながら ⏻ を押し、校正（スパン調整）モードへ進みます。（検定品では、この操作を受け付けません）	
③	はかりに何も載っていないこと、安定サインが点灯していることを確認して、 →T← を押ししてください。零点負荷を測定して、次へ進みます。	 ↓何も載せずに →T←
④	3000 目量分の分銅を載せて、 →T← を押ししてください。3000 目量時の負荷を測定して、次へ進みます。	 ↓3000 目量、載せて →T←
⑤	3000 目量分の分銅を追加して、 →T← を押ししてください。6000 目量時の負荷を測定して、次へ進みます。	 ↓3000 目量、加えて →T←
⑥	3000 目量分の分銅をはかりから取り除いて、 →T← を押ししてください。もう一度、3000 目量時の負荷を測定します。	 ↓3000 目量、取り除いて →T←
⑦	校正（スパン調整）を完了して、通常の質量表示へ戻ります。校正後は、質量表示が正しいか、分銅を載せて確認してください。 校正（スパン調整）を正常に完了できない場合は、エラー：「E-103」または「E-119」を表示します。エラー表示が出たときは、 →0← を押しとばかりを再起動します。	

8章 オプション

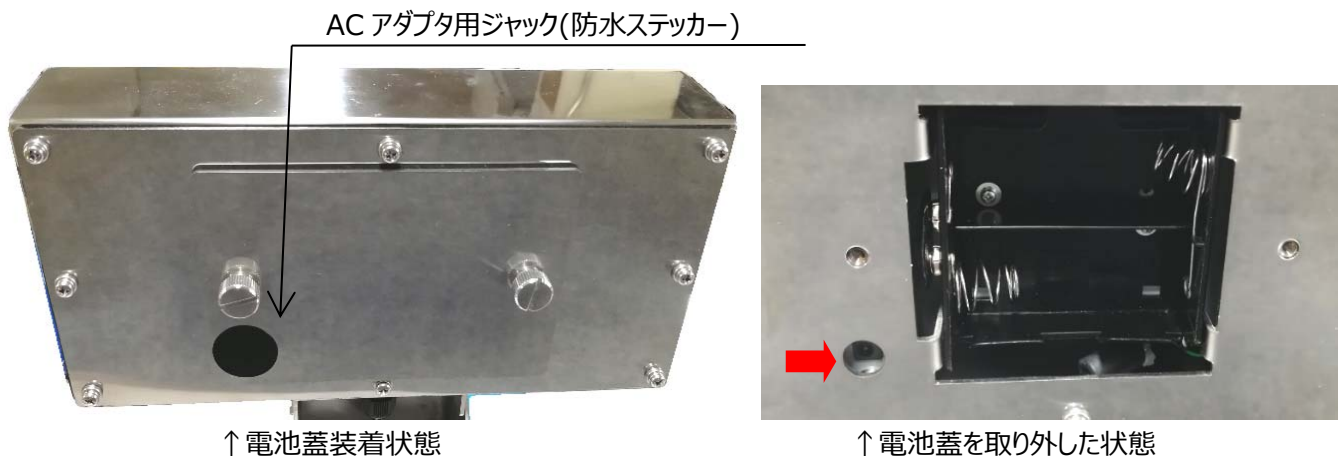
DP-6601 では、次のオプションを用意しています。オプションに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店までご連絡願います。

	オプション名	機能説明
①	専用 AC アダプタ	AC 電源から、はかりへの電力供給ができます。 ※AC アダプタ使用時は、非防水になります。
②	無線プリンタ（Bluetooth™ 無線通信ユニット付き） （工場出荷オプション）	弊社指定の無線プリンタと接続し、計量データを印字することができます。
③	無線通信ユニット（ZBee、Bluetooth™） （工場出荷オプション）	弊社専用ソフトを利用して、無線を使ったはかりとパソコン間でのワイヤレス通信ができます。

●AC アダプタ(オプション)を使用する場合の注意点

AC アダプタ用ジャック(差し込み口)は表示裏側、左下部にあります。AC アダプタを使用する場合、電池蓋を取り外して電池ボックス左下部分に AC アダプタプラグを挿していただくか、電池蓋のジャック部分に貼り付けてある防水ステッカーをはがして AC アダプタプラグを挿してください。AC アダプタ使用時は、はかりは非防水となります。

※防水ステッカーをはがす際は、ピンセットなどの工具を用いてください。



- ・防水ステッカーをはがしたあとは、防水性は保たれません。
- ・AC アダプタは必ず専用のものを使用してください。異なったものを使用すると、故障の原因になります。
- ・乾電池との併用はできませんので、必ず乾電池は全て取り外してください。
- ・AC アダプタのプラグをジャックにしっかりと差し込んだうえでお使いください。

9章 エラー表示

下記のような表示が出た場合は、エラーが発生しています。対処方法に従って対処してください。下記に無い表示が出た場合や、対処方法に従っても回復しない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店にご相談ください。

表示内容	原因	対処方法
電池残量少 	電池の残量が少なくなっています。	新しい乾電池を準備、全て新しい乾電池と交換してください。
電池切れ 	電池の残量が無くなっています。	新しい乾電池を準備、全て新しい乾電池と交換してください。
電圧低下 	AC アダプタの電圧が大きく低下しています。 (オプション AC アダプタ使用時)	AC 電圧が低下している可能性があります。別の電源コンセントへ差し替えた後、再度、電源をオンしてください。
質量計量不能 	質量が- 5 目量未満の場合に表示します。	 を押してください。載台を取り外している場合は、再度取り付けてください。
質量計量不能 	質量がひょう量 + 6 目量以上の場合に表示します。	品物を取り除くと質量表示になります。はかりのひょう量内で使用してください。
質量計量不能 	質量検出部分に異常があります。	一度電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
質量計量不能 	重い物を載せたまま電源をオンした場合に表示することがあります。	載台に何も載せずに電源をオンしてください。
質量計量不能 	載台を取り外した状態、もしくははかり本体と載台の隙間に物が挟まっている状態で電源をオンした場合に表示することがあります。	載台が正しく取り付けられていること、物が挟まっていないことを確認してください。また、他の物が載台に触れていないことを確認してから  を押してください。
質量計量不能 	はかりの使用時、重たい物を載せて  を押した場合に表示することがあります。	零点リセットできる範囲を超えています。載せた物を取り除いて  を押してください。
質量計量不能 	載台に何か載せたまま電源をオンし、その後、取り除いて  を押した場合に表示することがあります。	一度電源をオフし、載台が取り付けられていることを確認し、載台に何も載せずに電源をオンしてください。
内部メモリに関するエラー 	はかりの内部メモリへの書き込み内容に異常がある場合に表示します。	一度電源をオフし、しばらくしてから再度、電源をオンしてください。
キー故障エラー 	キーが押されたままになっており、故障の可能性がります。	一度、電源をオフし、[ON/OFF]以外のキーは押さずに再度、電源をオンしてください。
スパン調整エラー 	スパン調整が正常に完了しなかった場合に表示することがあります。	スパン調整に使用した分銅の質量が正しいか、確認してください。

10章 仕様

■製品の外观・仕様については、改良のため予告なしに変更することがあります。

1. 品名 防水型卓上デジタル台はかり
2. 型番 DP-6601
3. 計量方式 電気抵抗線式ロードセル
4. 載台寸法 ひょう量 3000g モデル … 200(W)×250(D)mm
ひょう量 6000g/15000g モデル … 250(W)×250(D)mm
5. ひょう量系列

●DP-6601 検定品

型番	DP-6601K-3	DP-6601K-6	DP-6601K-15
ひょう量	3000g	6000g	15000g
目量	1g	2g	5g
最小測定量	20g	40g	100g
最大風袋引き量	3000g	6000g	15000g
精度等級	3 級		

●DP-6601 検定外品

型番	DP-6601N-6	DP-6601N-12
ひょう量	6000g	12000g
目量	1g	2g
最小測定量	20g	40g
最大風袋引き量	6000g	12000g
表示分解能	1/6000(※1)	1/6000(※2)

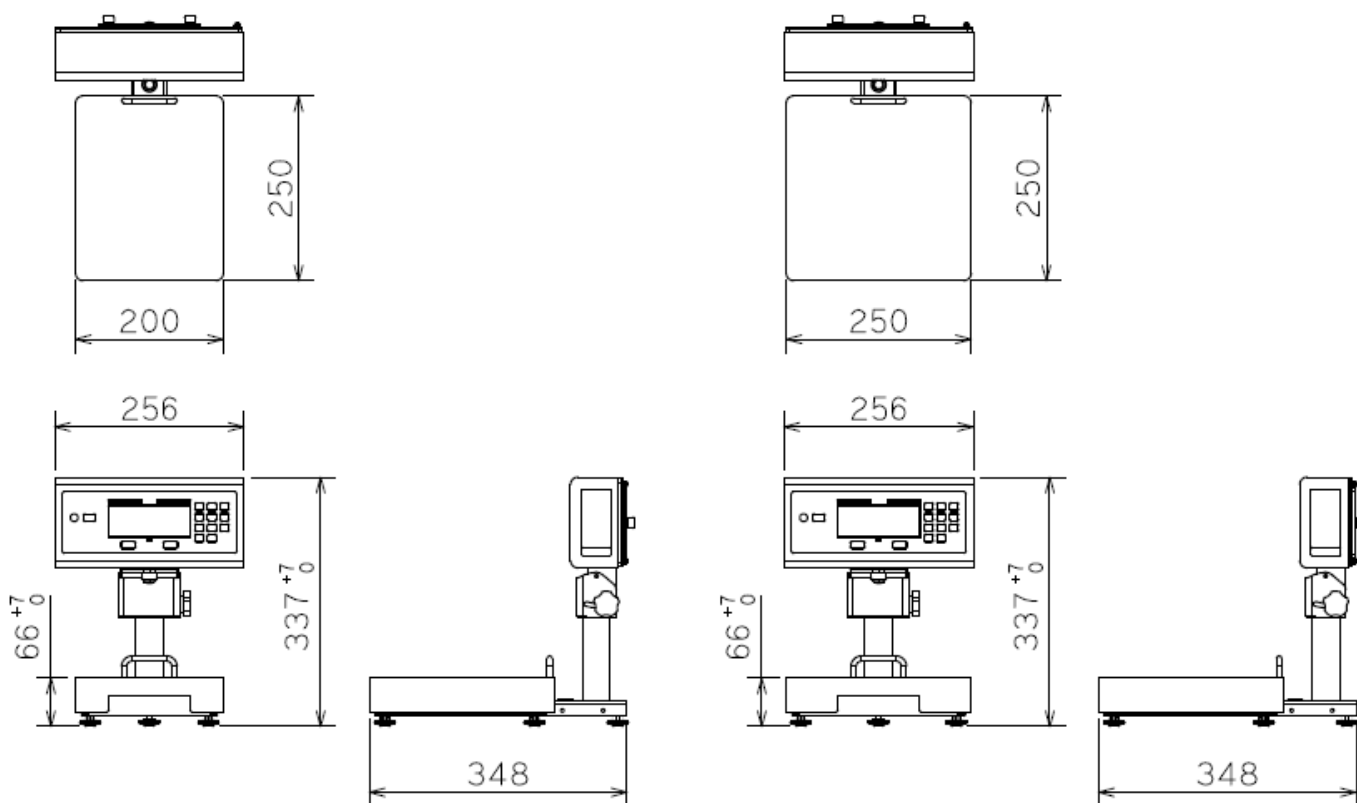
(※1)保証精度はひょう量 6kg の DP-6601 検定品に準ずる

(※2)保証精度はひょう量 15kg の DP-6601 検定品に準ずる

6. 表示部
 - 1) 表示管 液晶表示管(7セグメントタイプ)
 - 2) 数字サイズ フロント表示部 …主表示 13.6(W)×26(H)mm 副表示 3.2(W)×6(H)mm
 - 3) 表示内容 数値主表示(最大 5 桁、6 桁目は 1 のみ点灯)、数値副表示(最大 5 桁)零点サイン、正味量サイン、PT(プリセット風袋引き中)サイン、AT(自動風袋モード)サイン、安定サイン、乾電池残量サイン、マルチファンクション機能サイン、取引証明外(NOT LEGAL)サイン、判定用ランプ
7. 機能 零点リセット、ワンタッチ風袋引き、プリセット風袋引き、自動風袋引き、オートオフ、チェック(ジャスト計量、不足数量表示)、定量計量、ランク選別、ランク選別組合せ、計数、減算式計量
8. 外観
 - 1) 寸法 256(W)×348(D)×337~344(H)mm
 - 2) 製品自重 約 7 kg
 - 3) 本体材質 ステンレス

9. 防塵・防水保護 IP65 準拠 (A Cアダプタ使用時は非防水)
10. 電源
- 1) 電源の種類 単 1 形乾電池 2 本(付属)もしくは AC アダプタ(オプション)
 - 2) 消費電力 通常約 0.04W、最大約 0.5W
 - 3) 電池寿命 連続約 1,400 時間 (アルカリ乾電池使用時)
※乾電池のメーカー型式や保存状態により異なります。
11. 使用条件
- 1) 使用温度範囲 0℃～+40℃
 - 2) 使用湿度範囲 30%～85% R.H.(結露無きこと)
12. オプション AC アダプタ
無線プリンタ (Bluetooth™)
無線通信ユニット (ZBee、Bluetooth™)

13. 外観寸法図



【ひょう量 3000g モデル】

【ひょう量 6000g・12000g・15000g モデル】

信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

本社営業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号		TEL.078-918-6540
東日本支店	〒105-0013	東京都港区浜松町1丁目22番5号	KDX浜松町センタービル4階	TEL.03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27番14号	朝日生命名古屋栄ビル5階	TEL.052-238-5731
北関東オフィス	〒350-0822	埼玉県川越市山田1888番地1		TEL.049-215-3122
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀4丁目8番18号	ショー・エム都賀1階	TEL.043-214-3920
九州営業所	〒810-0044	福岡市中央区六本松2丁目12番25号	ベルヴィ六本松6階	TEL.092-577-1591